

ユーザー マニュアル

NC191 NC241

色と外観は製品によって異なる場合があります、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

目次

ご使用になる前に

7	著作権
7	このマニュアルで使用されるアイコン
7	安全面での予防措置に使用される記号
8	クリーニング
8	お手入れに関する注意事項
9	設置場所の安全確保
9	保管に関する注意事項
10	安全のために
10	電気に関する注意事項
11	インストール方法
13	ご使用の際の注意事項
16	製品使用時の正しい姿勢

準備

17	内容の確認
17	梱包材の取り外し
18	内容物の確認
20	部品
20	前面のボタンについて
22	背面
24	インストール方法
24	台座の取り付け
25	製品の傾きと高さの調整
25	モニターの回転
26	ウォールマウントキットまたはデスクトップ スタンドの取り付け
28	盗難防止用ロック

“PCoIP”の使用

29	“PC over IP”とは？
----	-----------------

目次

30	“PCoIP” を使用するための接続方法
30	LAN 接続
30	USB デバイスの接続
31	マイクの接続
31	ヘッドフォンまたはスピーカーの接続
31	シリアル ケーブルの接続
32	2 台目のモニターの接続
32	電源の接続
33	LAN ケーブルを使用してホスト PC に接続する
34	USB-to-Serial ドライバのインストール
36	“PCoIP”
36	オンスクリーン ディスプレイ (OSD)
36	接続画面
37	OSD オプション メニュー
37	Configuration ウィンドウ
48	Diagnostics ウィンドウ
52	Information ウィンドウ
54	User Settings ウィンドウ
62	Password ウィンドウ
64	Wake On LAN
65	Wake on USB
66	OSD Logo Upload
67	接続の前に
67	接続前のチェックポイント
68	PC の接続と使用
68	PC との接続
69	“Windows Driver” のインストール
70	最適な解像度の設定
71	PC を使用した解像度の変更
73	画面の設定
73	明るさ
73	明るさ の設定

目次

	74	コントラスト
	74	コントラストの設定
	75	シャープネス
	75	シャープネスの設定
	76	SAMSUNG MAGIC Bright
	76	SAMSUNG MAGIC Bright の設定
	77	粗調整
	77	粗調整
	78	微調整
	78	微調整
色合いの設定	79	SAMSUNG MAGIC Color
	79	SAMSUNG MAGIC Color の設定
	80	赤
	80	赤の設定
	81	緑
	81	緑の設定
	82	青
	82	青の設定
	83	色温度
	83	[色温度] の設定
	84	ガンマ
	84	ガンマの設定
画面のサイズとポジション の変更	85	H- ポジション と V- ポジション
	85	H- ポジション と V- ポジションの設定
	86	メニューの H- ポジションとメニューの V- ポジション
	86	メニューの H- ポジションとメニューの V- ポ ジション の設定

目次

セットアップとリセット	87	リセット
	87	設定の初期化（リセット）
	88	言語
	88	言語 の変更
	89	表示時間
	89	表示時間の設定
	90	メニューの透明度
	90	メニューの透明度の変更
	91	電源スイッチ
	91	電源スイッチ の有効化
インフォメーションメ ニューおよびその他	92	インフォメーション
	92	インフォメーションの表示
	92	起動画面での 音量 の設定
ソフトウェアのインストール	93	Natural Color
	93	Natural Color とは？
	94	MultiScreen
	94	ソフトウェアのインストール
	95	ソフトウェアの削除
トラブルシューティング ガ イド	96	Samsung カスタマー サービス センターに お問い合わせいただく前に
	96	製品のテスト
	96	解像度と周波数の確認
	96	以下について確認します。
	99	Q & A
仕様	100	一般
	101	省電力
	102	標準信号モード表

目次

付録	105	お客様相談ダイヤル
	106	有料サービスに関する責任（お客様の負担）
	106	製品に異常がない場合
	106	お客様の過失によって製品が損傷した場合
	106	その他
	107	用語

索引

著作権

このマニュアルの内容は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。

© 2012 Samsung Electronics

このマニュアルの著作権は、Samsung Electronics が保有しています。

このマニュアルの一部または全部について、Samsung Electronics の許可なく使用または複製することはできません。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

VESA、DPM および DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負いません。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で 사용되는場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

このマニュアルで使用されるアイコン

	以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。
---	------------------------------------

安全面での予防措置に使用される記号

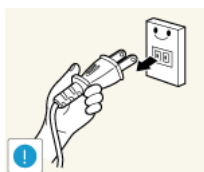
 警告	指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。
 注意	指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となることがあります。
	禁止行為を示しています。
	順守すべき行為を示しています。

クリーニング

お手入れに関する注意事項

高度 LCD のパネルおよび外装はキズが付きやすいため、清掃の際はご注意ください。

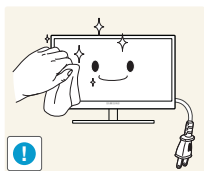
清掃は、次の手順で行ってください。



1. モニターと PC の電源をオフにします。
2. モニターから電源コードを外します。



電源コードはプラグ部分を持ち、濡れた手でコードに触れないでください。感電の原因となることがあります。



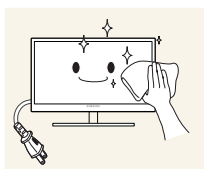
3. 清潔で柔らかい乾いた布を使用してモニター画面を拭きます。



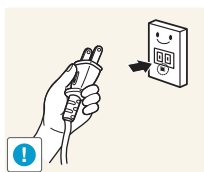
- アルコール、溶剤または界面活性剤を含む洗浄剤をモニターに使用しないでください。



- 製品に水や洗浄剤を直接かけないでください。



4. 柔らかい乾いた布を水で濡らし、しっかりと絞ってから、モニターの外装を清掃します。



5. 製品の清掃が終わったら、電源コードを製品に接続します。
6. モニターと PC の電源をオンにします。

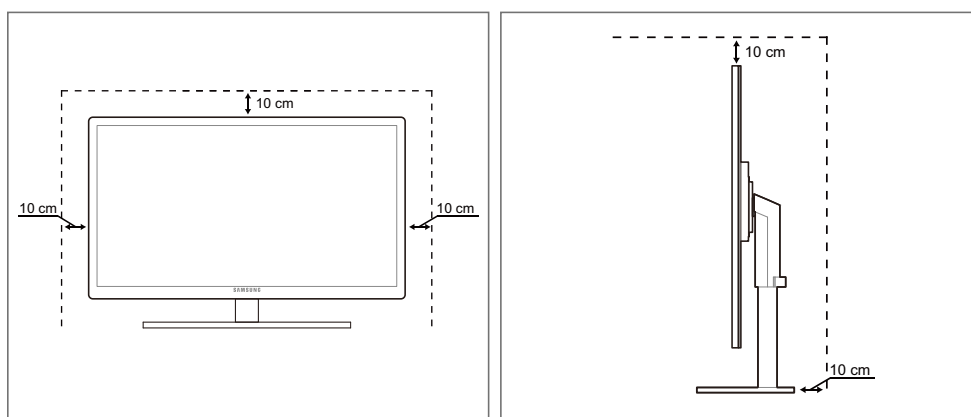
ご使用になる前に

設置場所の安全確保

- 排気のため、製品の周囲に空間を確保してください。内部温度が上昇すると、火災や製品の破損の原因となることがあります。製品を設置するときには、少なくとも下図に示す空間を確保してください。



外観は製品のモデルによって異なる場合があります。



保管に関する注意事項



モニター内部の清掃が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センター (105 ページ) までお問い合わせください。(別途作業費がかかります)

ご使用になる前に

安全のために

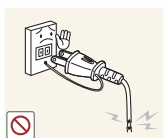
電気に関する注意事項



以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。



警告



破損した電源コードまたはプラグ、あるいはがたつきのある電源ソケットを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



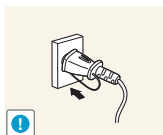
同じ電源ソケットに多数の製品の電源プラグを接続しないでください。

- ソケットが過熱し火災が発生することがあります。



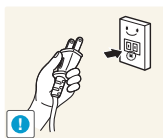
濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電の原因となることがあります。



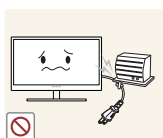
電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。

- しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。



電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください(絶縁クラス 1 の機器のみ)

- 感電またはケガの原因となることがあります。



電源コードを無理に曲げたり引っ張ったり、または重い物で電源コードを圧迫しないでください。

- 電源コードが破損して、感電や火災の原因となることがあります。



電源コードや製品を熱源の近くに置かないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

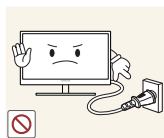


電源プラグの先端や電源ソケットに付いたほこりなどの異物は、乾いた布を使用して取り除いてください。

- 火災の原因となることがあります。

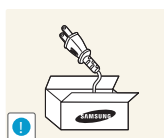
ご使用になる前に

⚠ 注意



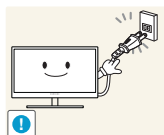
製品の使用中に電源コードを抜かないでください。

- ・ 感電により製品が破損することがあります。



弊社が提供する電源コードのみを使用してください。また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

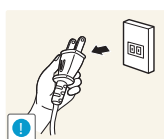
- ・ 感電または火災の原因となることがあります。



電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。

- ・ 製品に問題が発生した場合は、電源コードを抜いて完全に電源をオフにします。

製品の電源ボタンだけでは、電源を完全にオフにすることはできません。

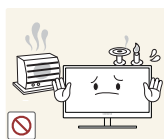


電源コードを電源ソケットから抜くときは、プラグ部分を持ってください。

- ・ 感電または火災の原因となることがあります。

インストール方法

⚠ 警告



ろうそく、虫除けまたはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

- ・ 火災の原因となることがあります。



製品を本棚や壁付きクローゼットなどの換気の悪い狭い場所に設置しないでください。

- ・ 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。



製品梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

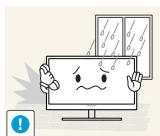
- ・ お子様がビニール袋で窒息することがあります。

ご使用になる前に



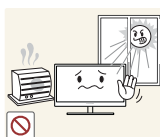
安定しないまたは振動する場所（不安定な棚、傾斜面など）に製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品が破損したり火災の原因となることがあります。



製品を車内に設置したり、ほこり、湿気（水切りなど）、油または煙にさらされる場所に設置したりしないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



製品を直射日光の当たる場所や、ストーブなどの熱源にさらされる場所に設置しないでください。

- 製品の寿命が短くなったり火災の原因となることがあります。



製品をお子様の手の届くところに設置しないでください。

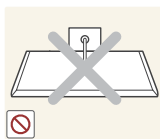
- 製品が落下してお子様のケガの原因となることがあります。

⚠ 注意



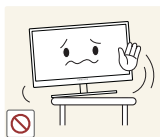
製品を移動させるときは落下にご注意ください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。



製品の前面を下にして置かないでください。

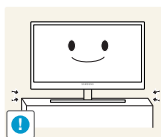
- 画面が破損することがあります。



製品をキャビネットや棚に設置するときには、製品の前面下側がはみ出ないようにしてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚に設置してください。

ご使用になる前に



製品を置くときは丁寧に置いてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。



通常とは異なる場所（大量の微粒子、化学物質、極端な高温または低温にさらされる場所、あるいは長期間にわたって製品を連続移動させる必要のある空港や駅）に製品を設置した場合には、製品性能に深刻な影響を与える可能性があります。

- これらの場所に製品を設置する場合は、事前に Samsung カスタマー サービス センター（105 ページ）にご相談ください。

ご使用の際の注意事項



警告



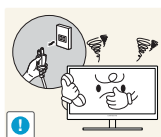
製品には高電圧が使用されています。お客様ご自身で製品を分解、修理または改造しないようにしてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センター（105 ページ）までお問い合わせください。



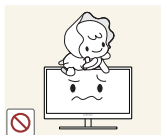
製品を移動するときは、電源スイッチをオフにして、電源ケーブルなどの接続ケーブルをすべて取り外してから移動してください。

- 電源コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。



製品から異音、焦げくさい臭い、または煙が発生した場合は、直ちに電源コードを抜いて Samsung カスタマー サービス センター（105 ページ）までご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

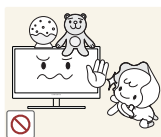
- 製品が落下して、お子様のケガや場合によっては重傷の原因となることがあります。



製品が落下したり外装が破損した場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（105 ページ）までご連絡ください。

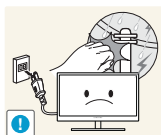
- 感電または火災の原因となることがあります。

ご使用になる前に



重い物や玩具、菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。



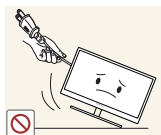
雷雨または落雷がある場合は、電源スイッチをオフにして電源ケーブルを抜いてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



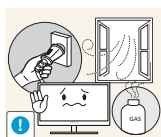
製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



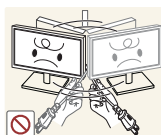
電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

- 電源コードが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



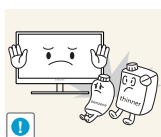
ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。



電源コードやその他のケーブルを引っ張って製品を持ち上げたり移動させたりしないでください。

- 電源コードが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。



テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

ご使用になる前に



金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を製品の通気口やポートに入れないでください。

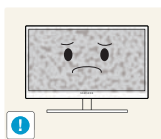
- 水や異物が製品内に入った場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（105 ページ）までご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



水のいった容器（花瓶、コップ、瓶など）や金属性の物を製品の上に置かないでください。

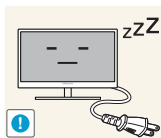
- 水や異物が製品内に入った場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（105 ページ）までご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因となることがあります。

- 長期間製品を使用しない場合は、省電力モードをオンにするか動画のスクリーンセーバーを設定してください。



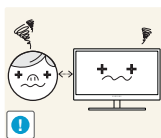
休暇などで長期間製品を使用しない場合には、電源コードを電源ソケットから外してください。

- ほこりの堆積、過熱、感電または漏電が発生し、火災の原因となることがあります。



製品に適した解像度および周波数を使用してください。

- 視力低下の原因となることがあります。



画面を近すぎる位置から長期間見続けると、視力が低下することがあります。



スタンドを持ってモニターを上下逆にしたり移動させたりしないでください。

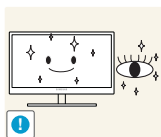
- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。



加湿器やコンロを製品の周辺で使用しないでください。

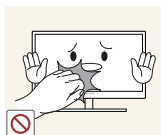
- 感電または火災の原因となることがあります。

ご使用になる前に

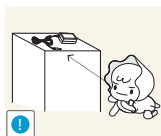


製品を使用するときには、1 時間ごとに 5 分以上は目を休めるようにしてください。

- 疲れ目が緩和されます。



電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。

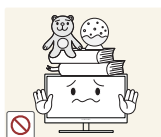


製品で使用される細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。



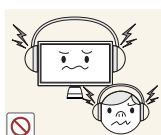
製品の角度やスタンドの高さを調整するときにはご注意ください。

- お子様の指や手が挟まれてケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、落下してケガの原因となることがあります。



製品の上に重い物を置かないでください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。



ヘッドフォンまたはイヤフォンを使用するときは音量の上げすぎに注意してください。

- 大音量により長期的な聴力に影響が及ぶ可能性があります。

製品使用時の正しい姿勢



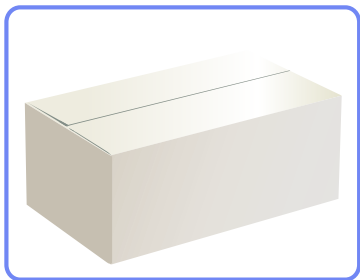
次の事項を守り、正しい姿勢で製品を使用するようにしてください。

- 背中を伸ばします。
- 眼は画面から 45～50cm 離し、画面を少し見下ろすようにします。
また、画面は顔の真正面にくるようにします。
- 画面に光が反射しないように角度を調整します。
- 前腕を上腕に対して垂直に保ち、前腕が手の甲と同じ高さになるようにします。
- 肘を直角に保ちます。
- 膝を 90 度以上曲げた状態でかかとが床に着き、さらに両腕が心臓より下にくるように製品の高さを調整します。

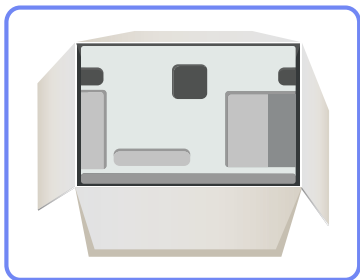
1.1 内容の確認

1.1.1 梱包材の取り外し

- 1 梱包されている箱を開きます。鋭利なものを使用して開梱する場合は製品を傷付けないようご注意ください。



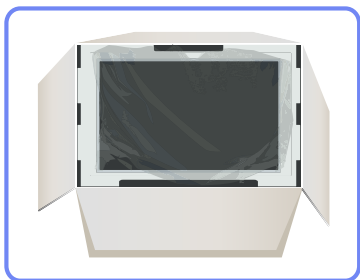
- 2 製品から発泡スチロールを取り外します。



- 3 内容物を確認して、発泡スチロールとプラスチックの袋を取り外します。



- 実際の内容物の外観は、表示とは異なる場合があります。
- この図はイメージです。



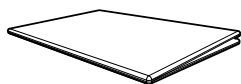
- 4 箱は、将来製品を移動させる時のために乾燥した場所に保管しておきます。

1.1.2 内容物の確認

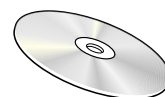


- 不足している物がある場合は、製品を購入された販売店にお問い合わせください。
- 内容物および別売品の外観は、表示とは異なる場合があります。

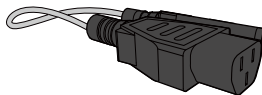
部品



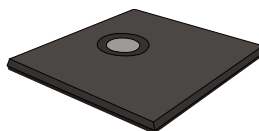
クイック セットアップ ガイド

保証書
(一部の地域では利用できません)

ユーザー マニュアル



電源ケーブル



スタンド基部

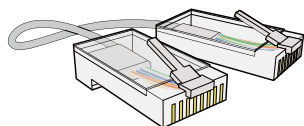


付属品は、販売している地域や国によって異なる場合があります。

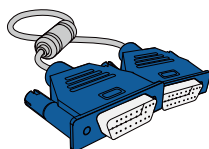
別売り品目



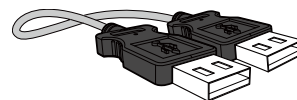
以下の別売品は、最寄りの小売店でご購入いただけます。



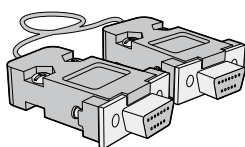
LAN ケーブル



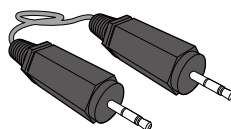
D-SUB ケーブル



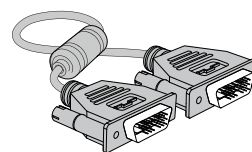
USB ケーブル



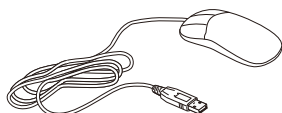
RS232C ケーブル



ステレオ ケーブル



DVI ケーブル



USB マウス



キーボード



ヘッドフォン

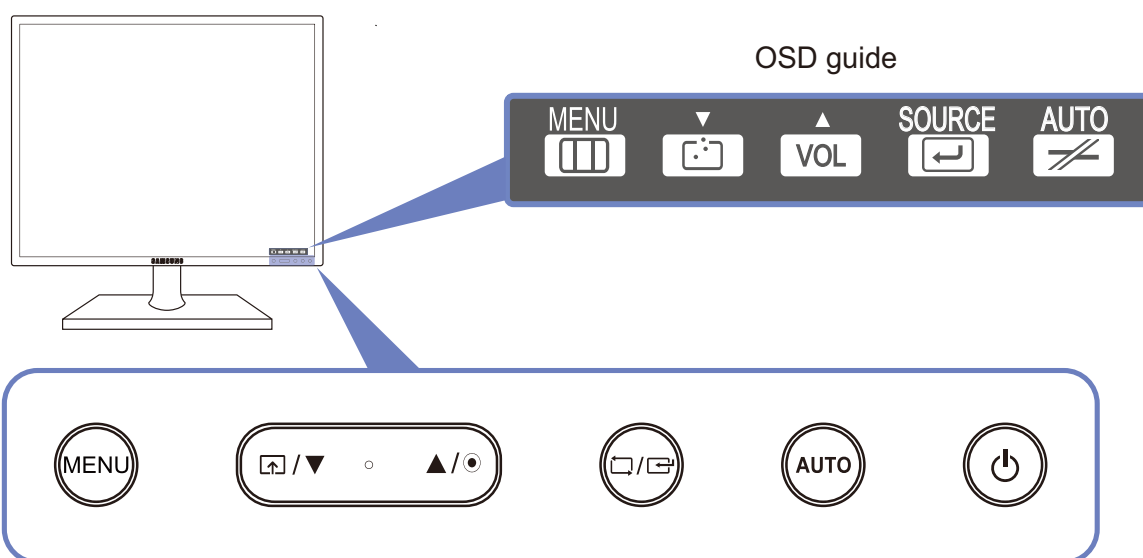


MIC

1.2 部品

1.2.1 前面のボタンについて

 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



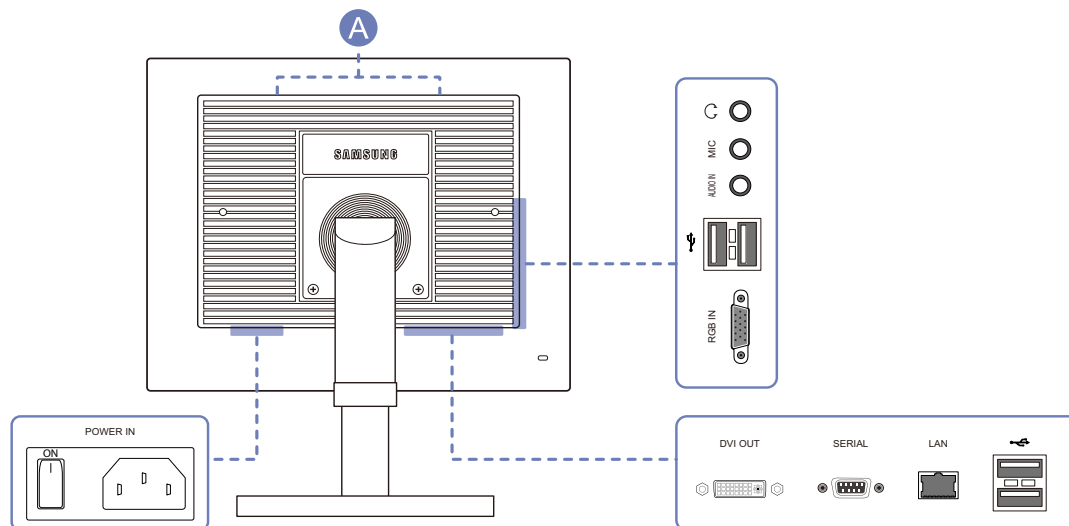
アイコン	説明
MENU	• オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、メニューを終了します。終了する前のメニューに戻る場合にも使用します。 • OSD 制御ロック:現在の設定を維持し、設定への意図しない変更が行われないように OSD 制御をロックします。 有効化:OSD 制御をロックするには、MENU ボタン[MENU]を 5 秒間押したままにします。 無効化:OSD 制御のロックを解除するには、MENU ボタン[MENU]を 5 秒間以上押したままにします。
	サーバーに接続します。
▼/▲	メニュー間を上下に移動します。OSD メニューのオプション値を調整する場合にも使用します。
●	音量 を調整します。 OSD ガイド が表示されている場合、[●] ボタンにより 音量 に割り当てられている機能が有効になります。

アイコン	説明
	選択したメニューを確定します。 OSD メニューが表示されていないときに [□/○] ボタンを押すと、入力ソース (Client/アナログ) が切り替わります。[□/○] ボタンを押して電源をオンにするか、入力ソースを変更した場合は、変更した入力ソースを示すメッセージが画面左上に表示されます。
AUTO	アナログ モード: 画面の設定を自動的に調整します。 Client モード: サーバーから切断します。
	製品の電源をオンまたはオフにします。  • セットアップとリセット → 電源スイッチ に移動して、電源オフ または 画面オフ を選択します。(電源スイッチ についての詳細は “7.5 電源スイッチ” を参照してください)。 • 電源オフ が選択されているときに製品をオンまたはオフにするには、電源ボタンを押します。 • デフォルトの設定は 電源オフ です。
OSD ガイド	製品の制御ボタンを押すと、OSD ガイドが表示され、続いてメニューが表示されます。(ガイドには押したボタンの機能が表示されます。) ガイドの表示中にメニューを表示するには、対応するボタンをもう一度押します。 OSD ガイドは、機能または製品モデルによって異なる場合があります。実際の製品を確認してください。

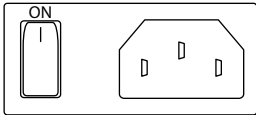
1.2.2 背面



部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

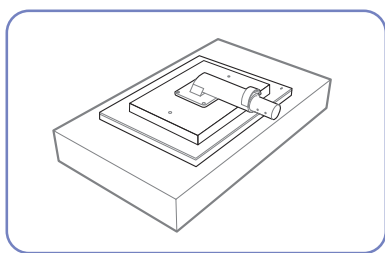


ポート	説明
	ヘッドフォンなどのオーディオ出力デバイスを接続します。
MIC 	マイクと接続します。
AUDIO IN 	オーディオ ケーブルを使用して音声入力ソースに接続します。
	USB デバイスに接続します。
RGB IN 	D-Sub ケーブルを使用して PC と接続します。
DVI OUT 	DVI ケーブルを使用して 2 台目のモニターを接続します。
SERIAL 	RS-232C 接続（インターフェイス）対応のデバイスに接続します。
LAN 	LAN ケーブルを使用してネットワークに接続します。

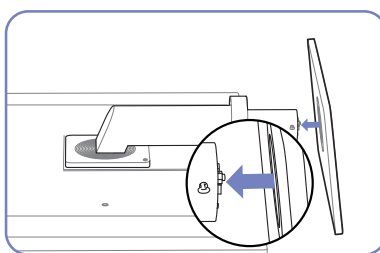
ポート	説明
POWER IN 	電源ケーブルを接続します。
A スピーカー	モデル コードの 11 桁目が M の場合は、スピーカーが内蔵されています。 例) LF19NEBHBM, LF24NEBHBM

1.3 インストール方法

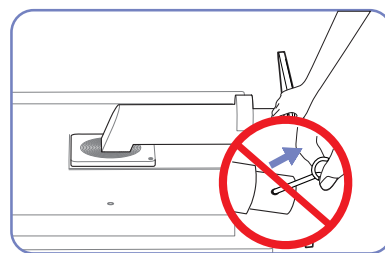
1.3.1 台座の取り付け



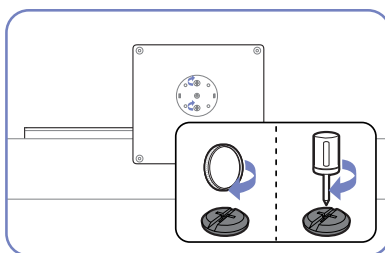
平らな場所に保護用の布またはクッションを置きます。次に、布またはクッションの上に、画面を下にして製品を置きます。



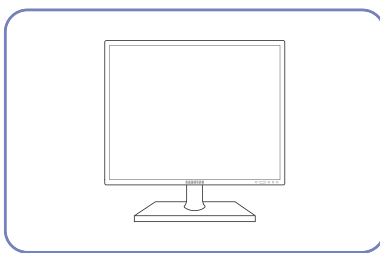
スタンド ベースを、矢印の方向に向かってスタンドに挿入します。



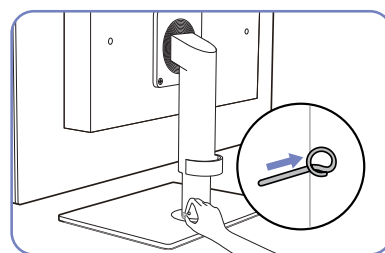
スタンドの取り付けが完了するまで、固定ピンを取り外さないでください。



ベースの下部にネジを取り付け、しっかりと締めます(ネジ回しまたはコインを使用します)。



スタンドの取り付け後、製品を直立させます。



固定ピンを取り外し、スタンドを調整することができます。



- 注意

スタンドのみを持って、製品を逆さまにしないでください。

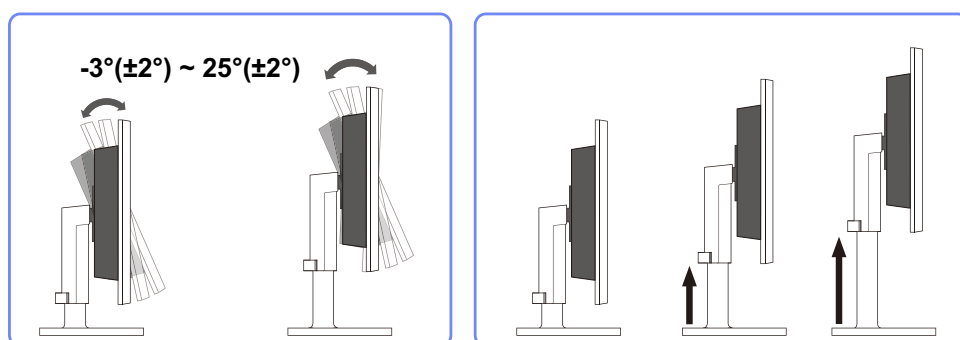


- 分解は、組み立てと逆の手順で行います。
- 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

1.3.2 製品の傾きと高さの調整



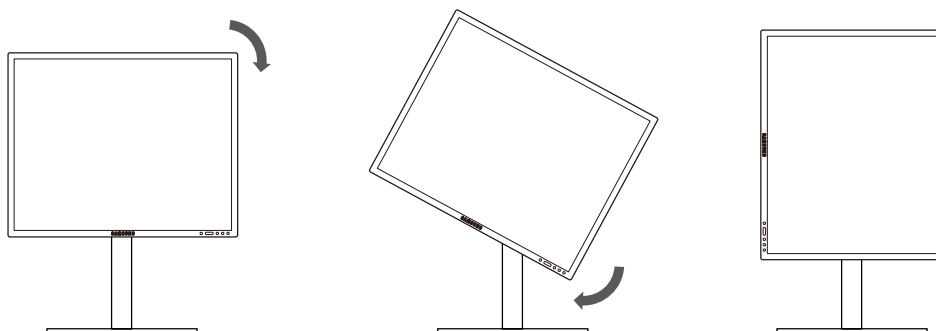
部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



- 高さを調整するには、固定ピンを取り外します。
- モニターの傾きと高さを調整することができます。
- 製品の一部中央を持ち、慎重に高さを調整します。

1.3.3 モニターの回転

下図に示すように、モニターを回転させることができます。



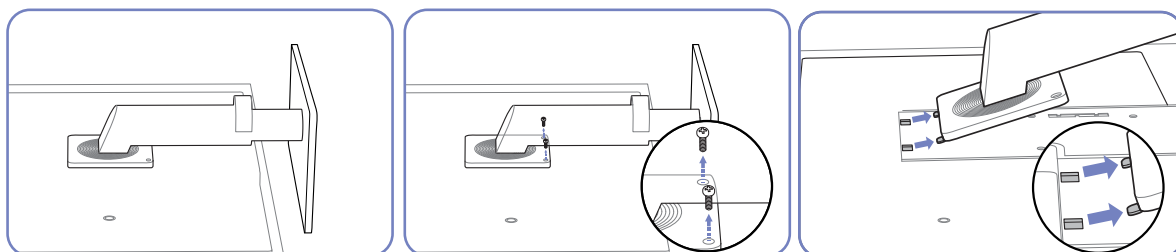
- モニターを回転させる前に、スタンドを完全に伸張させてください。
- スタンドを完全に伸張させずにモニターを回転させると、モニターの角が床にぶつかり、損傷することがあります。
- モニターを反時計回りに回転させないでください。モニターが損傷することがあります。

1.3.4 ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け

取り付けの前に

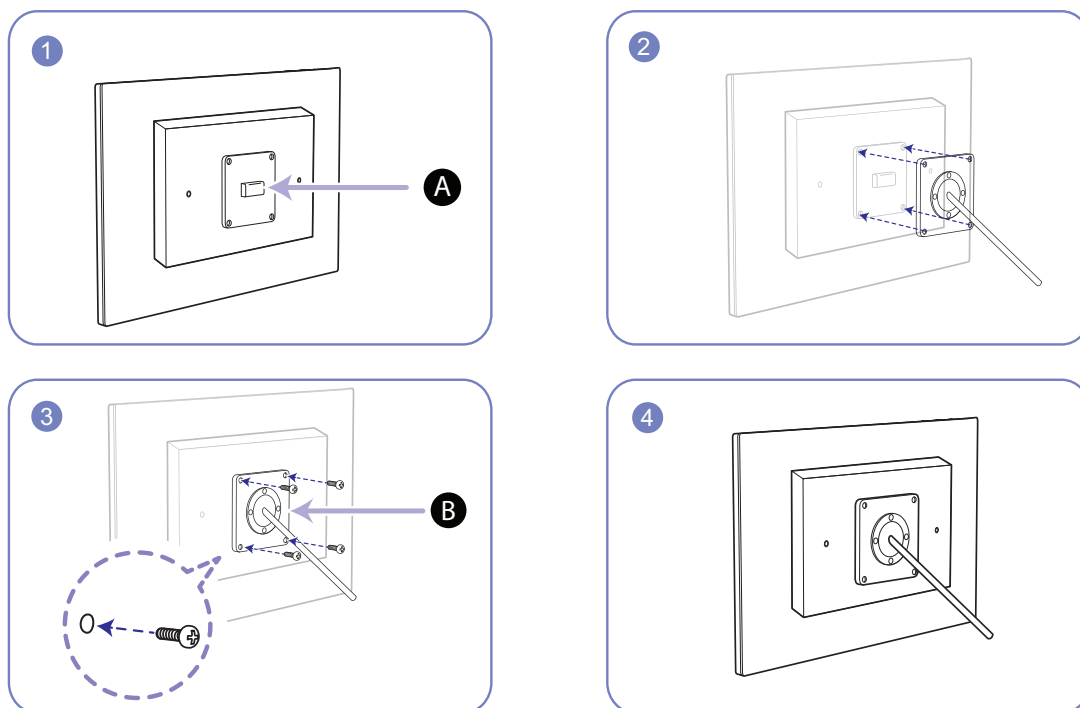


製品の電源をオフにして、電源ソケットから電源ケーブルを取り外します。



平らな場所に保護用の布またはクッションを置きます。次に、製品の背面にある 4 本のネジを
クッションを置きます。次に、製品を持ち上げて取り外します。
布またはクッションの上に、画面を下にして製品を置きます。

ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け



A ここにウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドを取り付けます

B ブラケット (別売り)

溝と溝を合わせ、ネジをしっかりと締めて、製品のブラケットと取り付けるウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの対応する部品を固定します。

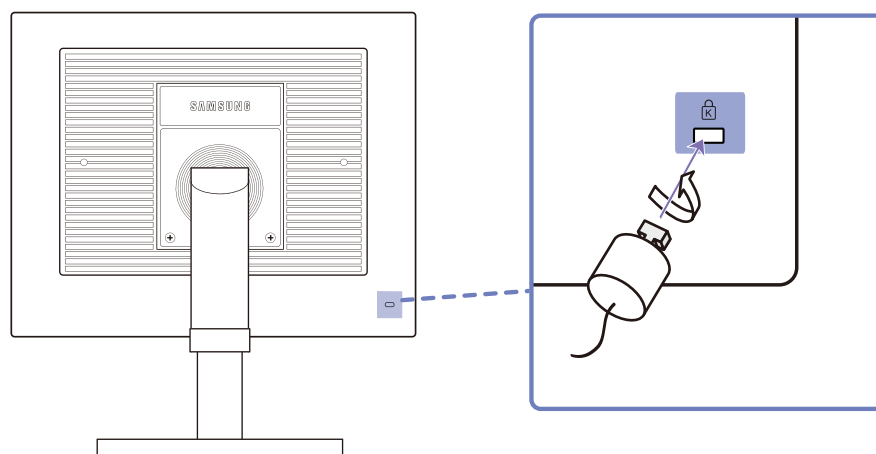


注意

- 標準の長さよりも長いネジを使用すると、製品の内部コンポーネントを損傷することがあります。
- VESA 規格に準拠していないウォール マウントに必要なネジの長さは、仕様によって異なります。
- VESA 規格に準拠していないネジを使用しないでください。ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け時に過度な力を加えないでください。製品が落下または破損し、傷害の原因になる場合があります。Samsung では、不適切なネジを使用したこと、または、ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け時に過度な力を加えたことが原因で発生した損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- Samsung では、指定以外のウォール マウント キットを使用したこと、または、ご自身でウォール マウント キットを取り付けようとしたことが原因で発生した製品の損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- 製品を壁掛けにする場合には、壁から 10 cm 以上離して取り付け可能なウォール マウント キットをご購入ください。
- 規格に準拠したウォール マウント キットを使用してください。
- ウォール マウントを使用してモニターを設置する場合は、モニターからスタンド ベースを取り外します。

1.3.5 盗難防止用ロック

盗難防止用ロックで、公共の場所でも本製品を安心してご使用いただくことができます。ロック装置の形状およびロック方法は、メーカーによって異なります。詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。ロック デバイスは別売りです。



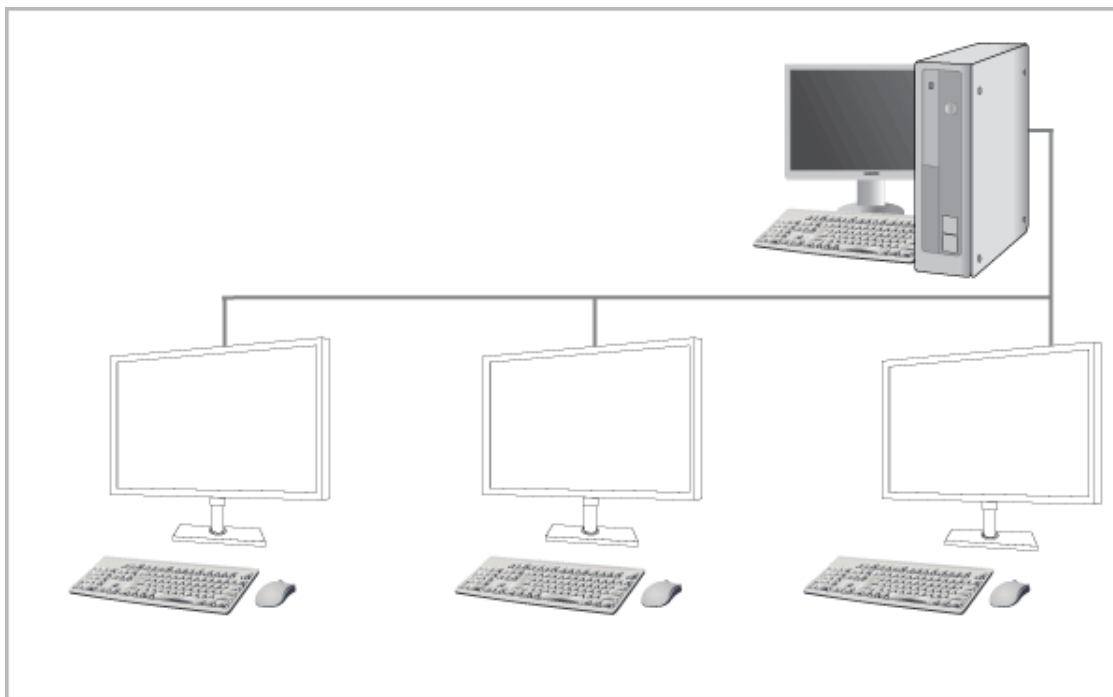
盗難防止用ロック装置のロック方法

- 1 盗難防止用ロック装置のケーブルを、机などの重量物に固定します。
- 2 ケーブルの一方の端を、他方の端のループに通します。
- 3 ロック装置を、本製品の背面にある盗難防止用ロック装置用のスロットに挿入します。
- 4 ロック装置をロックします。



- 盗難防止用ロック装置は、別売です。
- 詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。
- 盗難防止用ロック装置は、家電小売店やオンラインでご購入いただけます。

2.1 “PC over IP” とは？

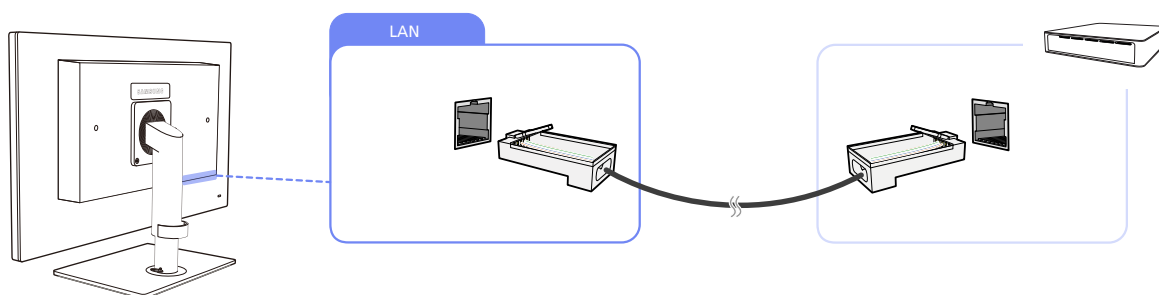


- このモニターは、エンコードされてネットワーク (LAN) 経由で送信されるサーバー PC の画面を表示するだけでなく、従来のモニターと同様にコンピュータの画面を表示します。このモニターは、通常の RDP よりもはるかに向上した性能を持っており、高画質のグラフィック作業に適した 1920*1080 ピクセルの解像度をサポートするように設計されています。
- このモニターでは、サーバー PC に接続し、インターネットにアクセスしてドキュメントの作成および画像の編集を行えるようにすることにより、セキュリティを強化することができます。これに加えて、新しいコンセプトのこのモニターではDSC、MP3、外部ストレージ デバイスなどの外部入力信号デバイスを USB ポートに接続することで、音楽やビデオの再生およびゲームを楽しむことができます。
- このモニターは、DVI OUT ポートを使ってデバイスを接続してネットワーク ディスプレイ画面を別の表示デバイスに表示することにより、ビデオ会議や共同作業などのさまざまな分野に活用することができます。

2.2 “PCoIP” を使用するための接続方法

- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。

2.2.1 LAN 接続



- 1 LAN ケーブルを製品背面の [LAN] に接続します。

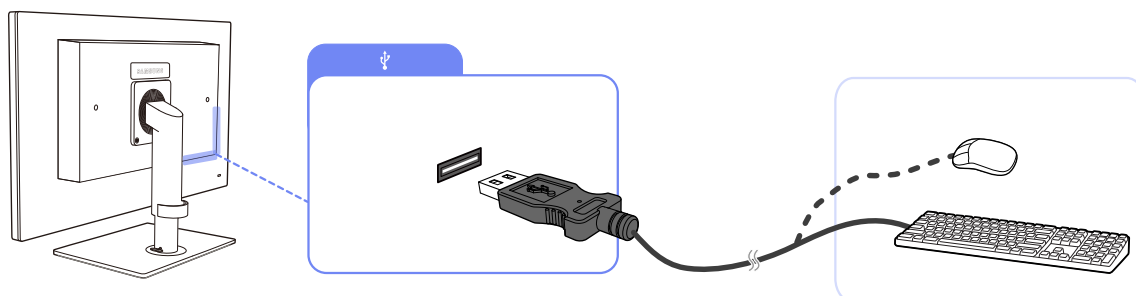


- ネットワーク速度が 10Mbps 以下の場合はサポートされません。
- 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。
*STP: Shielded Twist Pair (ツイストペアケーブル)

2.2.2 USB デバイスの接続

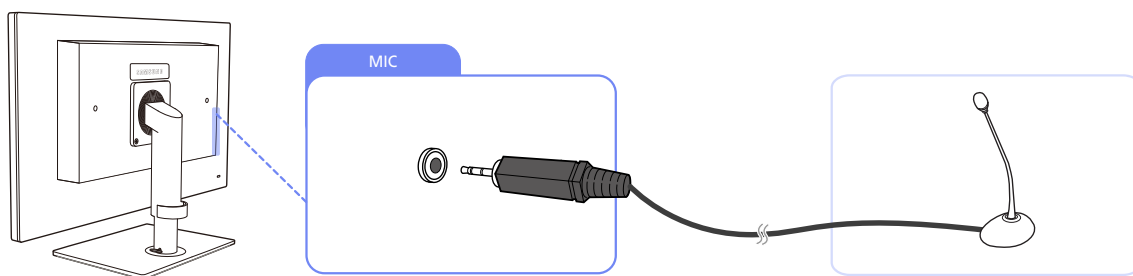


- [] ポートは、USB 2.0 までの規格に対応しています。
- VMware View 4.6 以降が必要です。データ転送速度は、ネットワーク環境によって異なる場合があります。



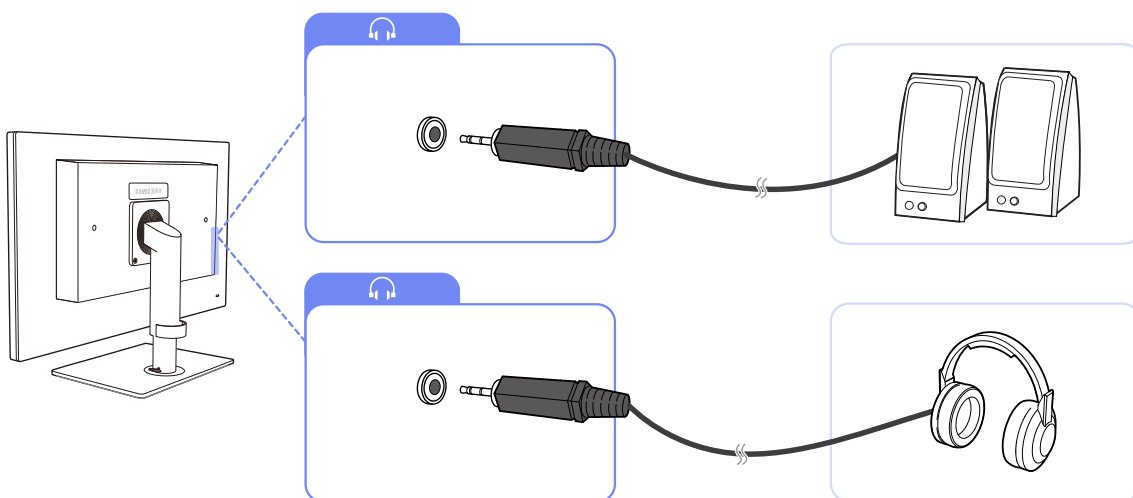
- 1 キーボードやマウスなどの USB デバイスを製品背面の [Ψ] に接続します。

2.2.3 マイクの接続



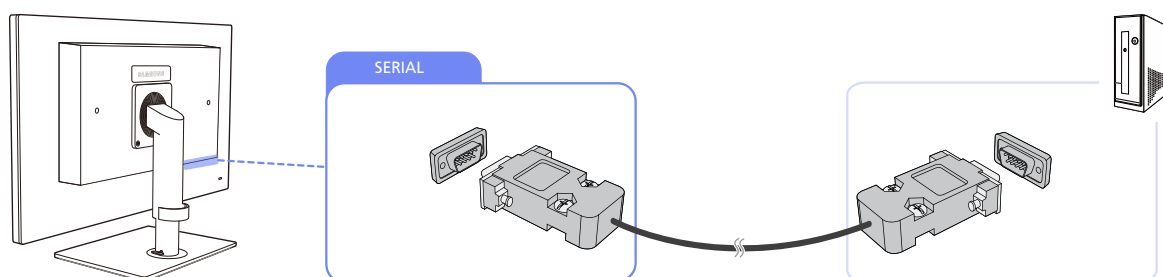
- 1 マイクを製品背面の [MIC] ジャックに接続します。

2.2.4 ヘッドフォンまたはスピーカーの接続



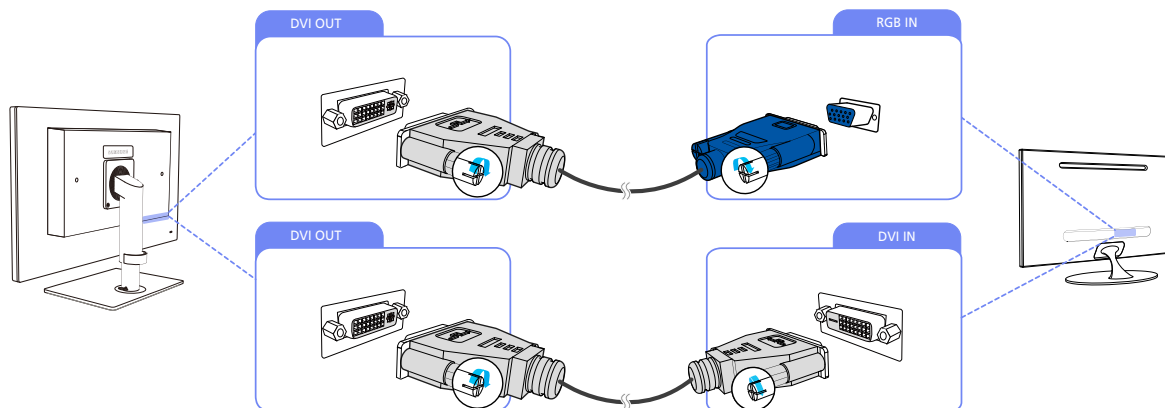
- 1 ヘッドフォンやスピーカーなどのオーディオ出力デバイスを製品背面の [🎧] に接続します。

2.2.5 シリアル ケーブルの接続



- 1 RS-232C ケーブルを使用して、本製品の背面にある [SERIAL] と RS232C 接続 (インターフェイス) に対応した PC またはデバイスの [SERIAL] を接続します。

2.2.6 2 台目のモニターの接続

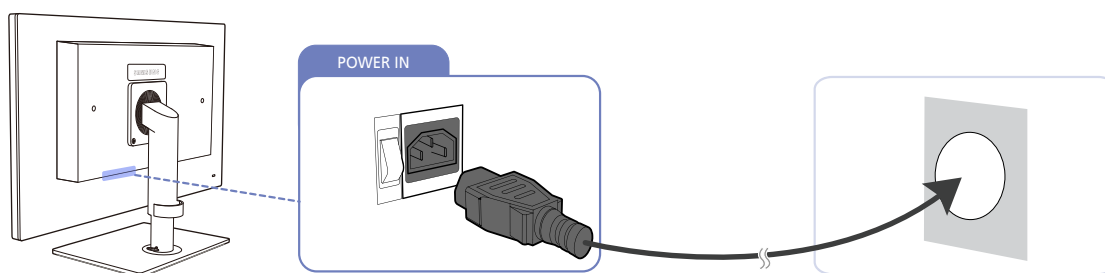


- 1 DVI ケーブルまたは 変換ケーブル (DVI→D-SUB) を使用して、製品の [DVI OUT] と別のモニターの [DVI IN] または [RGB IN] を接続します。



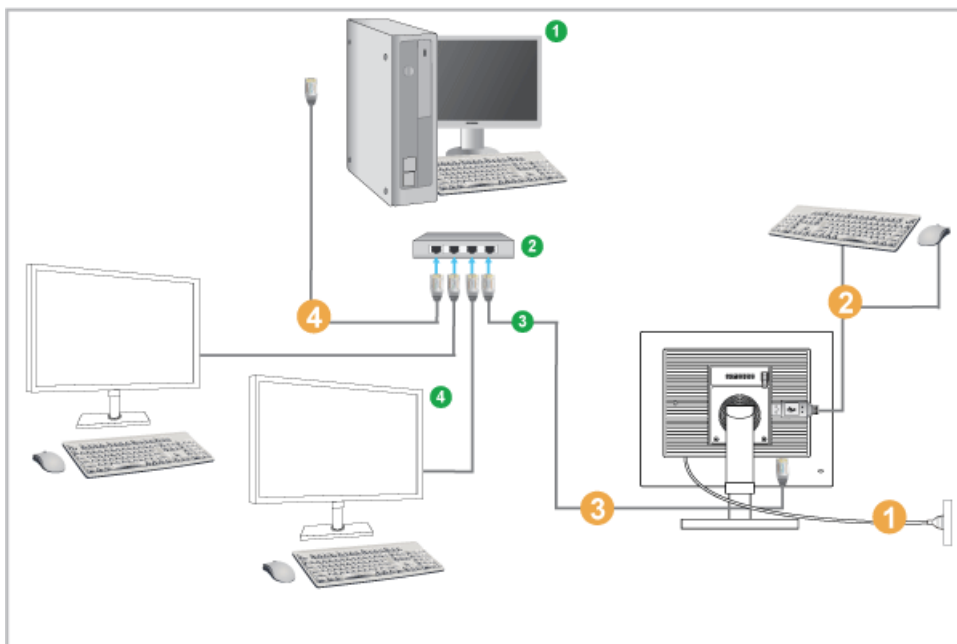
- [DVI OUT] ポートは、デュアル モニターを接続する場合にのみ使用できます。
- [DVI OUT] ポートを接続して、同じ画面をプロジェクターなどの他のモニターで表示します。(プレゼンテーション用)
- デュアル モニター接続における最大解像度は 1920 x 1200 です。

2.2.7 電源の接続



- 1 電源ケーブルを製品とコンセントに接続して、電源スイッチをオンにします。
(電源電圧は自動的に切り替わります)

2.3 LANケーブルを使用してホストPCに接続する



- ① ホストPC ② HUB ③ LAN ケーブル ④ モニター

- ① 電源コードをモニター背面の電源端子に接続します。
- ② いずれかのUSBポートにマウスとキーボードを接続します。
- ③ モニター背面のLANポートとハブを接続します。
- ④ ハブとホストPCのLANポートを接続します。



ホストPCにはIPアドレスが割り当てられている必要があります。

LANの接続とIPアドレスの設定が完了したら、ホストPCの画面をモニター上に表示することができますようになります。

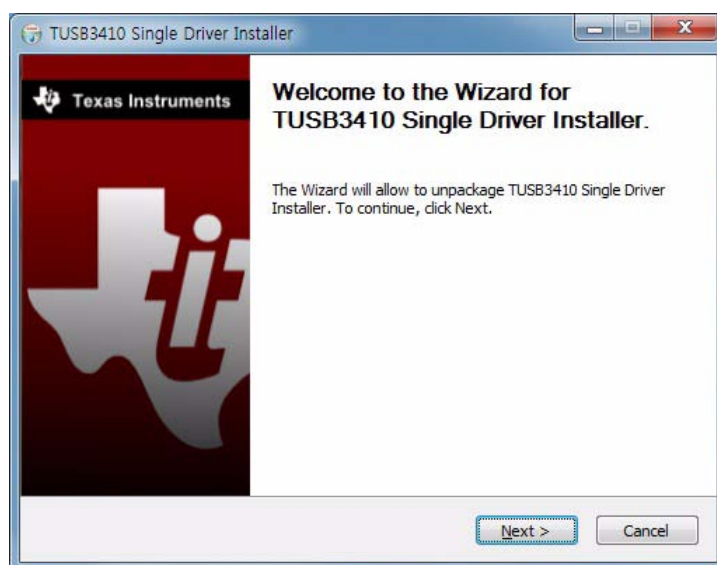
USBポートを使用して、外部機器（DSC、MP3、外部記憶装置など）を接続します。

多数のクライアント デバイスを 1 台のホスト PC に接続できるのは、vmware のような仮想化ソリューションがホスト PC にインストールされている場合のみに限られます。

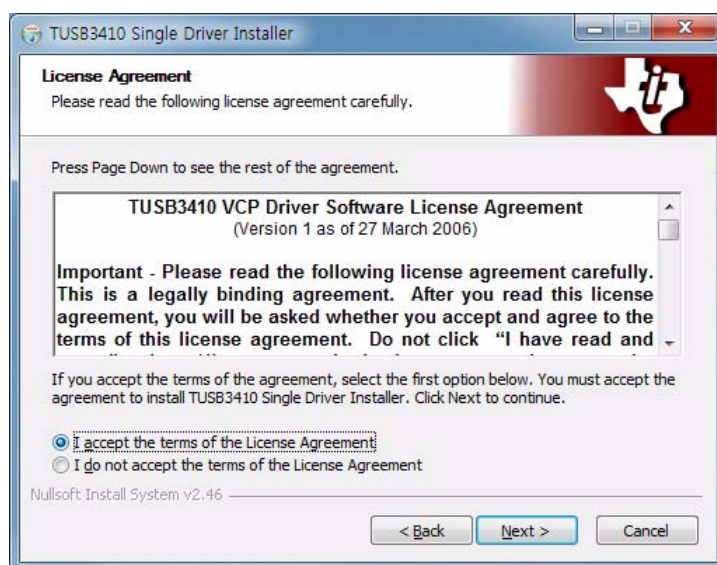
2.3.1 USB-to-Serial ドライバのインストール

 サーバー PC にドライバをインストールします。

- 1 ドライバのインストール CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
- 2 USB-SERIAL Driver をクリックします。
- 3 “Next” をクリックします。



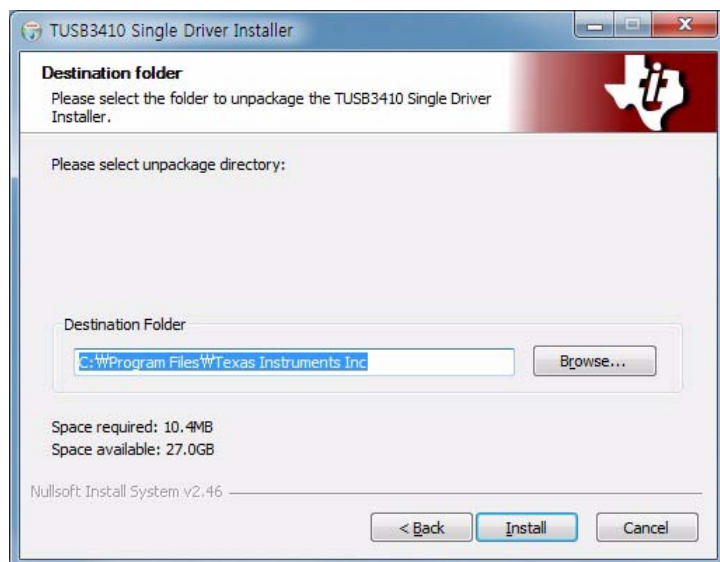
- 4 “License Agreement” ウィンドウで、“I accept the terms in the license agreement” を選択して “Next” をクリックします。



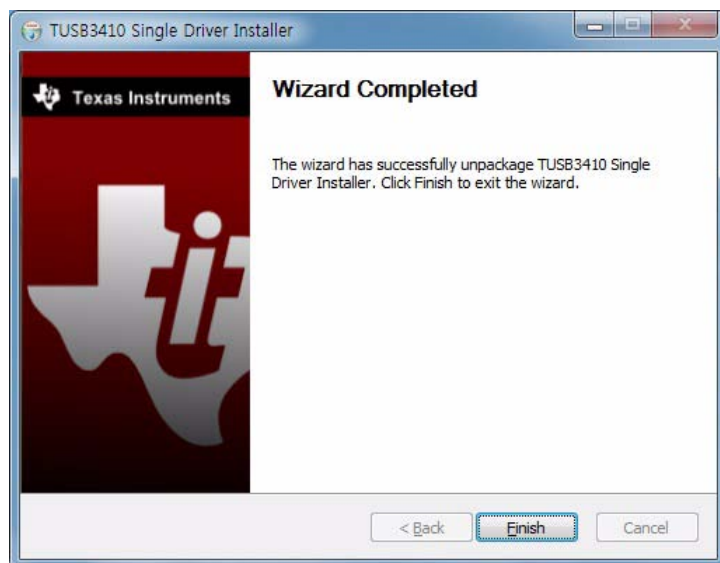
- 5 プログラムをインストールする “Destination folder” のパスを指定して “Install” をクリックします。



ディレクトリパスを指定しない場合には、プログラムはデフォルトのディレクトリパスにインストールされます。



6 “Finish” をクリックします。



2.4 “PCoIP”

2.4.1 オンスクリーン ディスプレイ (OSD)

OSD (On Screen Display) のローカル GUI は、デバイスに電源が投入され PCoIP セッションが行われていないときに表示されます。OSD では、**Connect** ウィンドウを使用してホスト デバイスに接続できます。

Connect ウィンドウから **Options** ページにアクセスできます。このページでは管理 Web インターフェイスの一部の機能を使用できます。

Options ページにアクセスするには、**Connect** ウィンドウの **Options** メニューをクリックします。

2.4.2 接続画面

Connect ウィンドウは、起動または自動再接続を管理するようにクライアントが設定されている場合を除いて、起動時に表示されます。

Connect ボタン上に表示されるロゴは、管理 Web インターフェイスの **Upload** メニューから代替の画像をアップロードすると変更できます。

Connect ボタン

Connect ボタンをクリックすると、PCoIP セッションが開始されます。PCoIP 接続が保留になっているときは、OSD のローカル GUI に “Connection Pending” というメッセージが表示されます。接続が確立されると、OSD のローカル GUI が消えてセッション イメージが表示されます。

図 2-1:OSD 接続画面 (接続中)



2.4.3 OSD オプション メニュー

Options メニューを選択すると、選択リストが表示されます。OSD の **Options** メニューには、以下の項目があります。

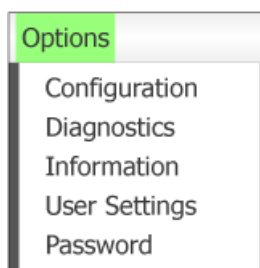
- **Configuration**
このオプションでは、ネットワークの設定、セッションの種類、言語などの様々な設定を行うことができます。
- **Diagnostics**
このオプションはデバイスのトラブルシューティングに役立ちます。
- **情報**
このオプションでは、デバイスの特定の詳細情報を確認できます。
- **User Settings**
このオプションでは、certificate checking mode、**Mouse**、**Keyboard**、**Display Topology**、および PCoIP プロトコルの画像品質を設定できます。
- **Password**
このオプションでは、デバイスの管理者パスワードを変更できます。



このオプションは **Management Console** プログラムから利用できます。詳細については、www.teradici.com をご覧ください。

オプションを選択すると設定ウィンドウが表示されます。

図 2-2:OSD **オプション** メニュー



2.4.4 Configuration ウィンドウ

管理 Web インターフェイスおよび OSD の **Configuration** オプションからは、デバイスに関する様々な設定を行うことができます。

Configuration ウィンドウには、以下のタブがあります。

- | | | |
|--------------------|------------------|----------------|
| • Network | • IPv6 | • Label |
| • Discovery | • Session | • 言語 |
| • OSD | • Display | • Reset |

各タブには次のボタンがあります。**OK**、**Cancel**、**Apply**。管理者は、これらのボタンを使用して変更を承認またはキャンセルできます。



OSD 設定オプションは、管理 Web インターフェイスで使えるオプションのサブセットです。設定の変更には管理者パスワードが必要です。**Diagnostic** メニューおよび **Information** メニューを表示する場合は、パスワードは必要ありません。**Password** 項目のある場合にのみ利用できます。

Network タブ

Initial Setup ページまたは **Network** ページからホストおよびクライアントのネットワーク設定を行うことができます。このページのパラメータを変更した後は、**Apply** をクリックして変更を確定します。



Network パラメータは、管理 Web インターフェイスを使用して設定することもできます。

図 2-3: Network 設定

- **Enable DHCP**

Enable DHCP が有効になっているときには、デバイスは DHCP サーバーに問い合わせ、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ IP アドレスおよび DNS サーバーの割り当てを受けます。無効になっているときには、デバイスでこれらのパラメータを主導で設定する必要があります。

- **IP Address**

デバイスの IP アドレスです。DHCP を無効にした場合は、有効な IP アドレスをこのフィールドに入力する必要があります。DHCP を有効にすると、このフィールドは編集できなくなります。

- **Subnet Mask**

デバイスのサブネット マスクです。DHCP を無効にした場合は、有効なサブネット マスクをこのフィールドに入力する必要があります。DHCP を有効にすると、このフィールドは編集できなくなります。

 不正な IP アドレス/サブネット マスクの組み合わせ（たとえば、無効なマスク）を設定した場合は、デバイスがアクセスできなくなります。サブネット マスクが正しく設定されていることを確認してください。

- **Gateway**

デバイスのゲートウェイ IP アドレスです。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。DHCP を有効にすると、このフィールドは編集できなくなります。

- **Primary DNS Server**

デバイスのプライマリ DNS IP アドレスです。このフィールドはオプションです。接続マネージャーを使用して DNS サーバー IP アドレスを設定した場合は、IP アドレスではなく FQDN でアドレスが設定されることがあります。

- **Secondary DNS Server**

デバイスのセカンダリ DNS IP アドレスです。このフィールドはオプションです。接続マネージャーを使用して DNS サーバー IP アドレスを設定した場合は、IP アドレスではなく FQDN でアドレスが設定されることがあります。

- **Domain Name**

使用するドメイン名（たとえば、'domain.local'）です。このフィールドはオプションです。このフィールドでは、クライアントのホストまたはドメインを指定します。

- **FQDN**

ホストまたはクライアントの完全修飾ドメイン名です。デフォルト値は pcoip-host-〈MAC〉 または pcoip-portal-〈MAC〉 で、〈MAC〉 の部分はホストまたはクライアントの MAC アドレスです。使用した場合は、ドメイン名が追加されます（たとえば、pcoip-host-〈MAC〉.domain.local）。このページのこのフィールドは読み取り専用です。

- **Ethernet Mode**

ホストまたはクライアントの Ethernet mode を次の中から選択します。

- ☐ **自動**
- ☐ **100 Mbps Full-Duplex**
- ☐ **10 Mbps Full-Duplex**

10 Mbps Full-Duplex または **100 Mbps Full-Duplex** を選択して **Apply** をクリックすると、次の警告メッセージが表示されます。

“警告:PCoIP デバイスの自動ナビゲーションを無効にする場合は、スイッチも同様に無効にする必要があります。また、PCoIP デバイスとスイッチが同一速度で全二重パラメータを使用するように設定する必要があります。パラメータが異なる場合は、ネットワークの接続性が失われる可能性があります。本当に続けますか?”OK をクリックするとパラメータが変更されます。



通常は **Ethernet Mode** を **Auto** に設定し、他のネットワーク機器（たとえばスイッチ）が **10 Mbps Full-Duplex** または **100 Mbps Full-duplex** で動作するように設定されている場合にのみ **10 Mbps Full-Duplex** または **100 Mbps Full-duplex** を使用してください。Ethernet Mode が適切に設定されていないと、ネットワークが半二重で動作する場合があります（この動作は PCoIP プロ

トコルでサポートされていません)。セッション速度が大幅に低下し、最終的には切断されます。

IPv6 タブ

IPv6 ページでは、IPv6 ネットワークに接続されている PCoIP デバイスの IPv6 を有効にできます。



- **VMware View** では、現在 IPv6 はサポートされていません。
- このページの設定を変更した場合は、変更を反映させるために、デバイスを再起動する必要があります。

図 2-4:IPv6 設定

- **Enable IPv6**
このフィールドを有効にすると PCoIP デバイスで IPv6 が有効になります。
- **Link Local Address**
このフィールドは自動的に入力されます。
- **Gateway**
ゲートウェイ アドレスを入力します。
- **Enable DHCPv6**
デバイスの DHCPv6 (Dynamic Host Configuration Protocol version 6) を設定するには、このフィールドを有効にします。
- **Primary DNS**
デバイスのプライマリ DNS IP アドレスです。DHCPv6 が有効になっている場合、このフィールドは DHCPv6 サーバによって自動的に入力されます。
- **Secondary DNS**
デバイスのセカンダリ DNS IP アドレスです。DHCPv6 が有効になっている場合、このフィールドは DHCPv6 サーバによって自動的に入力されます。

- **Domain Name**

ホストまたはクライアントで使用するドメイン名（たとえば、'domain.local'）です。DHCPv6 が有効になっている場合、このフィールドは DHCPv6 サーバによって自動的に入力されます。

- **FQDN**

ホストまたはクライアントの完全修飾ドメイン名です。DHCPv6 が有効になっている場合、このフィールドは DHCPv6 サーバによって自動的に入力されます。

- **Enable SLAAC**

デバイスで SLAAC (Stateless Address Auto Configuration) を設定するには、このフィールドを有効にします。

- **Enable Manual Address**

デバイスの手動（静的）アドレスを設定するには、このフィールドを有効にします。

- **Manual Address**

デバイスの IP アドレスを入力します。

Label タブ

Label ページはホストまたはクライアントから利用できます。**Label** ページでは、デバイスの情報を追加できます。



Network パラメータは、管理 Web インターフェイスを使用して設定することもできます。

図 2-5:Label 設定

Configuration

Network IPv6 Label Discovery Session Language OSD Display Reset

Configure the device identification

PCoIP Device Name:

Note: When DHCP is enabled the PCoIP Device Name is sent to the DHCP server as the requested hostname.

PCoIP Device Description:

Generic Tag:

Unlock OK Cancel Apply

- **PCoIP Device Name**

PCoIP Device Name で管理者がホストまたはポータルに論理名を指定できるようになっている場合。デフォルト値は pcoip-host-MAC または pcoip-portal-MAC で、MAC の部分はホストまたはポータルの MAC アドレスです。

- **PCoIP Device Description**

説明および追加情報（デバイスのエンドポイントの場所など）です。このフィールドはファームウェアでは使用されません。管理者のみが使用できます。管理者のみが使用できます。

- **Generic Tag**

デバイスに関するジェネリック タグ情報です。このフィールドはファームウェアでは使用されません。管理者のみが使用できます。

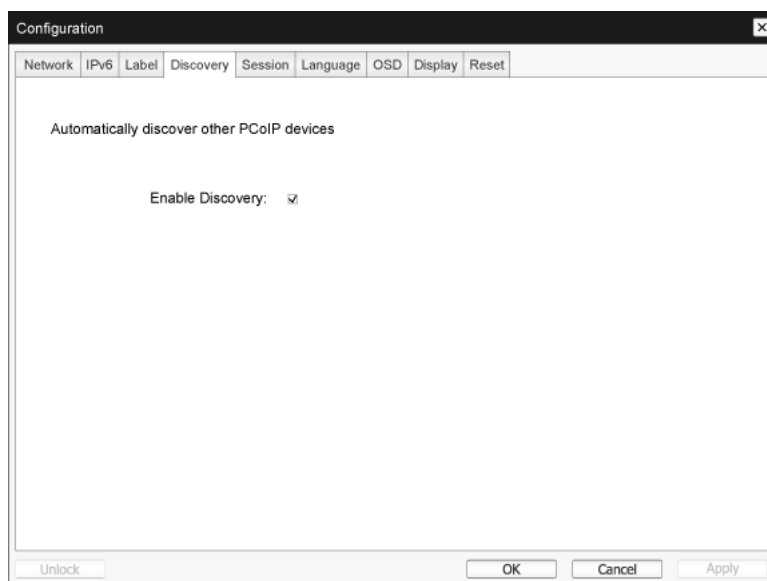
Discovery タブ

Discovery Configuration ページの設定を使用して PCoIP システム内のホストおよびクライアントの検出を消去すると、複雑なシステムの設定と保守の手間を大幅に軽減できます。この検出メカニズムは、DNS SRV ディスカバリから独立しています。



SLP ディスカバリを有効にするには、サブネット間のマルチキャスト トラフィックを転送するようにルータを設定する必要があります。この方法はほとんどのプログラムでは利用できないため、DNS-SRV ディスカバリが推奨される検出メカニズムとなります。

図 2-6:Discovery 設定



- **Enable Discovery**

Enable Discovery オプションが有効になっている場合は、デバイスは SLP ディスカバリを使用してピア デバイスを動的に検出するため、ピア・デバイスのネットワーク内の位置に関する事前情報は必要ありません。これによって、複雑なシステムにおける設定およびメンテナンスの労力を劇的に軽減することができます。



SLP ディスカバリでは、マルチキャストを許可するようにルータを設定する必要があります。DNS-SRV ディスカバリが推奨されるメソッドです。

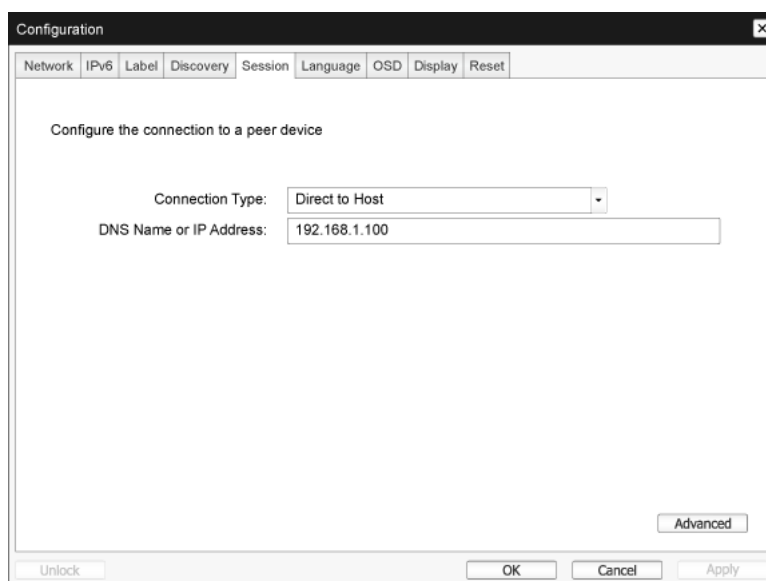
Session タブ

Session ページでは、ホストまたはクライアントとピア デバイスとの接続方法またはピア デバイスからの接続の承認方法を設定できます。



Session パラメータは、管理 Web インターフェイスを使用して設定することもできます。

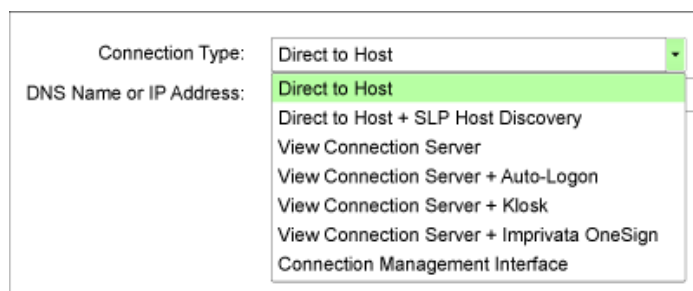
図 2-7: Session 設定



- Connection Type**

セッション ページでダイレクト セッション接続タイプを選択すると、詳細な設定オプションが表示されます。

図 2-8: Connection Type 設定



- DNS Name or IP Address**

ホストの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。



この設定はクライアント側でのみ使用できます。

- Advanced**

詳細については、www.teradici.com の TERADICI ガイドを参照してください。

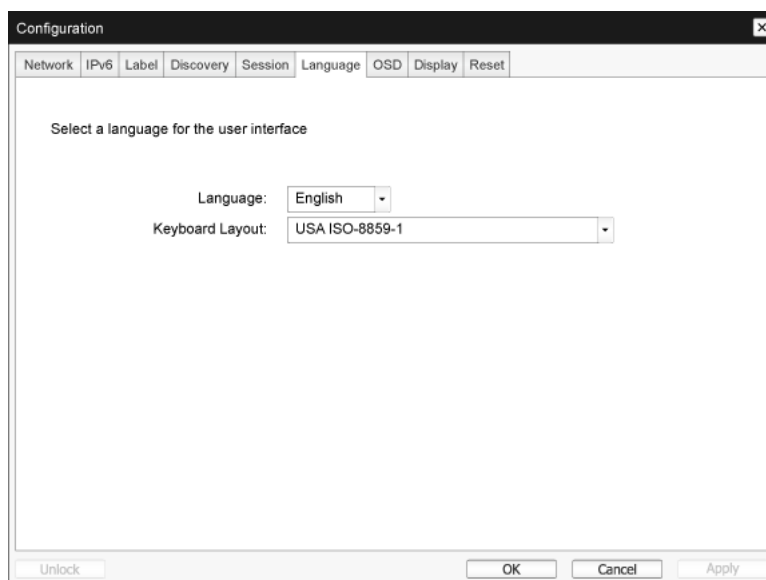
Language タブ

Language ページでは、ユーザー インターフェイスの言語を変更できます。



- この設定はローカル OSD GUI に影響します。設定はクライアント側でのみ使用できます。
- Language パラメータは、管理 Web インターフェイスを使用して設定することもできます。

図 2-9: Language 設定



- **Language**

OSD の言語を設定します。この設定は OSD の言語のみに適用されます。実際のユーザー セッションの言語設定には影響しません。



対応言語: English, French, German, Greek, Spanish, Italian, Portuguese, Korean, Japanese, Traditional Chinese, Simplified Chinese

- **Keyboard Layout**

キーボードのレイアウトを変更します。ユーザーがセッションを開始すると、この設定は仮想マシンを介して制御されます。Windows グループ ポリシー オブジェクト (GPO) がキーボード レイアウト設定を許可するように設定されている場合は、この設定がユーザーのセッション中に適用されます。Windows GPO がキーボード レイアウト設定を許可するように設定されていない場合は、この設定は適用されません。

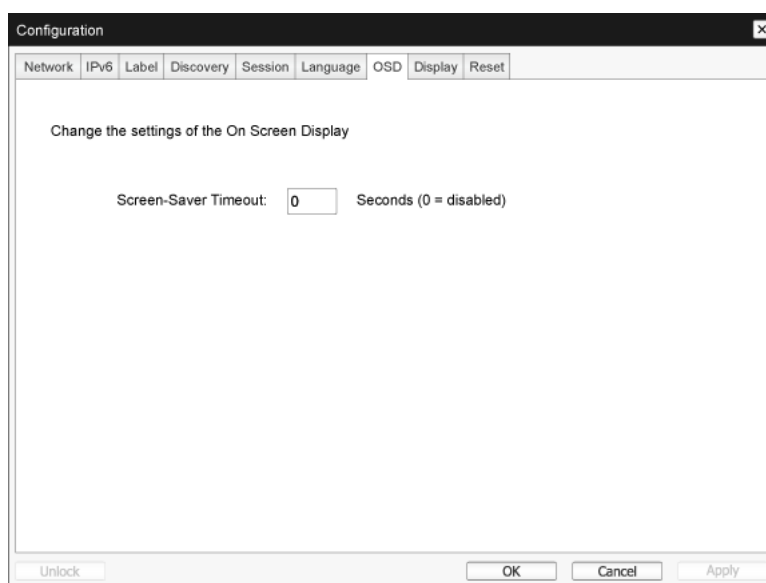
OSD タブ

OSD ページでは、**On Screen Display** パラメータを使用してスクリーンセーバーのタイムアウトを設定できます。



- OSD パラメータは、管理 Web インターフェイスを使用して設定することもできます。
- **OSD** ページは、クライアント側でのみ使用できます。ホスト側では使用できません。

図 2-10: OSD 設定



- **Screen-Saver Timeout**

クライアントが付属のディスプレイを低電力モードに設定する前に、スクリーンセーバーのタイムアウトを設定します。タイムアウト モードは秒単位で設定できます。タイムアウトの最大値は 9999 秒です。0 秒に設定すると、スクリーンセイバーを無効にします。

Display タブ

Display ページでは、**Extended Display Identification Data(EDID)** オーバーライド モードを有効にできます。



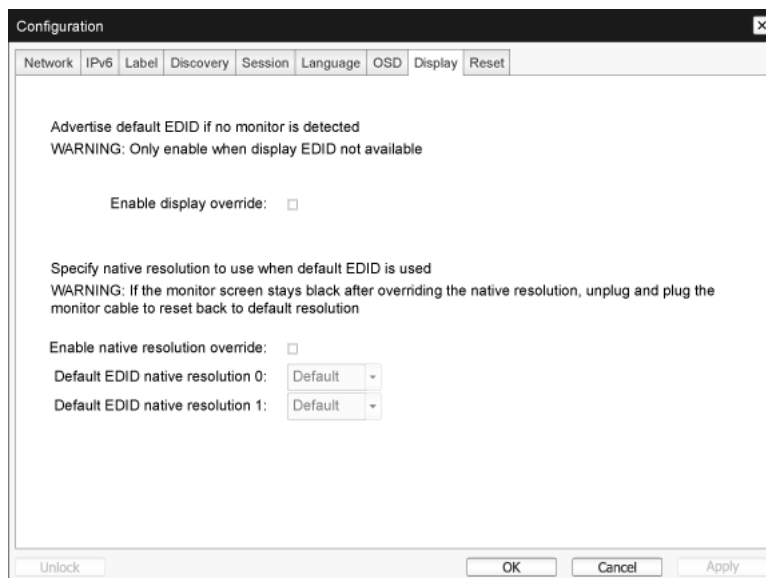
この機能は OSD からのみ利用可能です。

通常動作では、ゼロ クライアントに接続されているモニターに対して、ホスト コンピュータの **GPU** から問い合わせが行われ、モニターの性能が決定されます。ただし、モニターを特定の **KVM** 機器を使用してクライアントに接続している場合など、接続方法によっては、クライアント側で **EDID** 情報の読み取りができなくなることがあります。このページのオプションを使用すれば、デフォルトの **EDID** 情報を **GPU** に通知するようにクライアントを設定できます。



ディスプレイ オーバーライドを有効にすると、デフォルトのディスプレイ情報が強制的に使用されるため、接続されているモニターとの互換性がない場合は、モニターに何も表示されないことがあります。有効な EDID 情報がなく、モニターの表示特性がわかっている場合にのみ、ディスプレイ オーバーライドを有効にしてください。

図 2-11: Display 設定



- **Enable display override**

このオプションは、レガシー システム用です。モニターを検出できない場合やモニターがクライアントに接続されていない場合に、デフォルトの **EDID** 情報をホストに送信するようにクライアントを設定します。Windows 7 より以前のバージョンの Windows では、ホストで **EDID** 情報が見つからなかった場合、モニターが接続されていないと判断され、再チェックは行われません。このオプションでは、クライアントがセッション中の場合、ホストには常に **EDID** 情報があると判断されます。

このオプションが有効になっている場合、次のデフォルトの解像度が通知されます。

- 800x600 @60 Hz
- 1024x768 @60 Hz (公表されているネイティブの解像度)
- 1280x800 @60 Hz
- 1280x960 @60Hz
- 1280x1024 @60 Hz
- 1600x1200 @60 Hz
- 1680x1050 @60 Hz
- 1920x1080 @60 Hz
- 1920x1200 @60 Hz

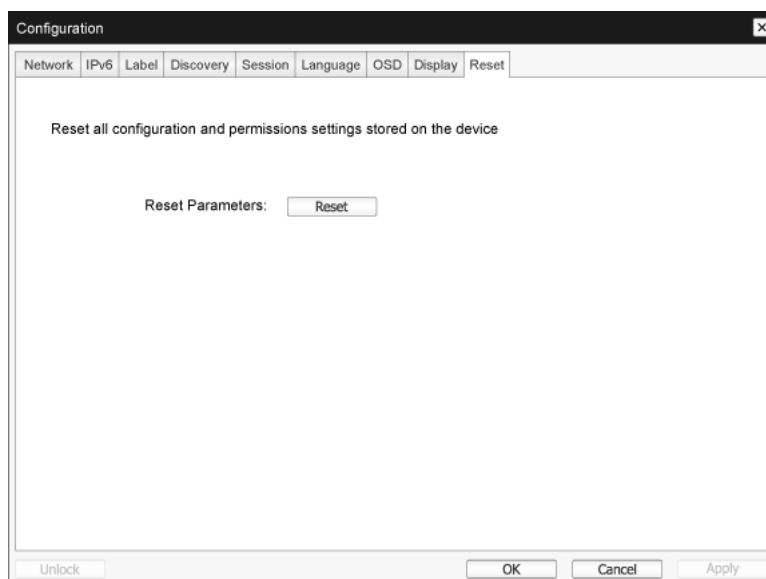
Reset タブ

Reset Parameters ページでは、設定とパーミッションを工場出荷時のデフォルト値にリセットできます。また、デフォルト値は、オンボードのフラッシュ メモリに保存されています。



- Reset は管理 Web インターフェイスを使用して開始することもできます。
- パラメータを工場出荷時の設定に戻しても、ファームウェアは元の状態に戻りません。また、カスタムの OSD ロゴも削除されません。

図 2-12:Reset



Reset Parameters

このボタンをクリックすると、確認を求めるメッセージが表示されます。これは意図しないリセットを避けるためです。

2.4.5 Diagnostics ウィンドウ

Diagnostic メニューの各リンクをクリックすると、トラブルシューティングのヒントとなるようなランタイム情報や機能を確認できます。



OSD の **Diagnostic** オプションは、管理 Web インターフェイスから使用できる機能の一部です。

- **Event Log**
- **Session Statistics**
- **PCoIP Processor**
- **Ping**

各タブには、ウィンドウを閉じるために **Close** ボタンがあります。

Event Log タブ

Event Log ページでは、ホストまたはクライアントからのイベント ログ メッセージを確認およびクリアできます。

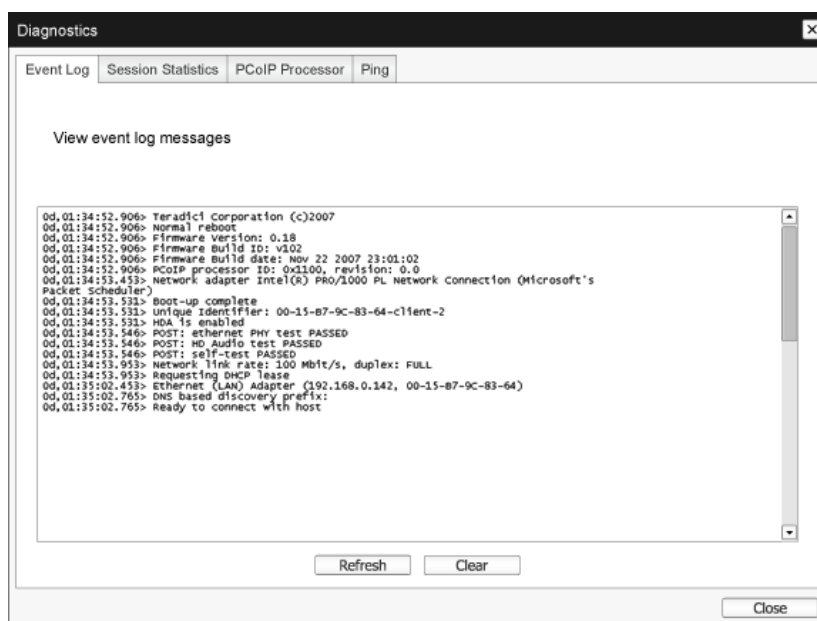
管理 Web インターフェイスからデバイスのログ フィルタ設定を変更し、ログのメッセージをどの程度詳細にするかを指定できます。フィルタを “terse” にすると、メッセージは短く簡潔になります。

Event Log ページでは、Syslog を有効にして、プログラム メッセージのロギングに関して、IETF 標準に合致するイベントを収集およびレポートするように設定できます。



Event Log は、管理 Web インターフェイスを使用して開始することもできます。

図 2-13: Event Log



- **View event log message**

View event log messages フィールドには、ログ メッセージがタイム スタンプ情報とともに表示されます。2 つのボタンを使用できます。

- **更新**

Refresh ボタンを選択すると、表示されるイベント ログ メッセージが更新されます。

- **Clear**

クリックすると、デバイスに格納されているすべてのイベント ログ メッセージが削除されます。

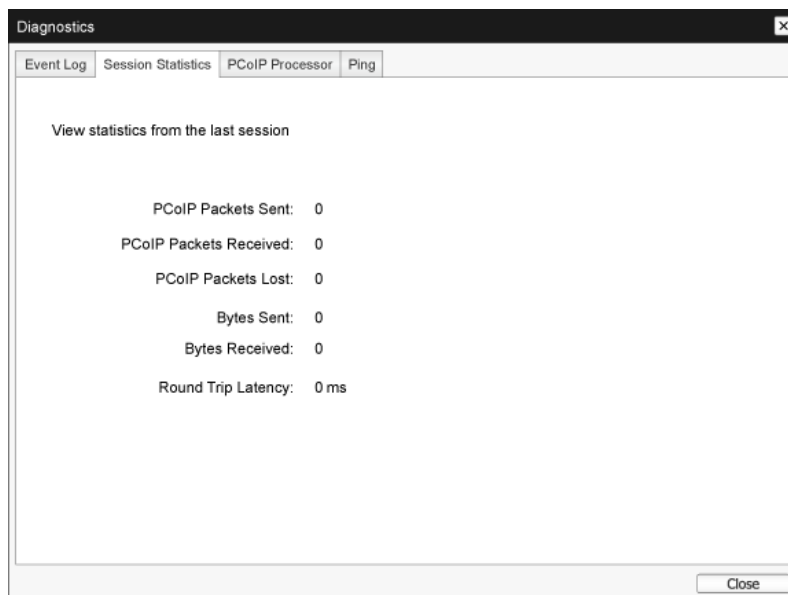
Session Statistics タブ

セッションがアクティブな場合は、**Session Statistics** ページに現在の統計情報が表示されます。セッションがアクティブでない場合は、前回のセッションの統計情報が表示されます。



Session Statistics は、管理 Web インターフェイスを使用して表示することもできます。

図 2-14: Session Statistics



- PCoIP パケット統計情報
 - **PCoIP Packets Sent**
現在/前回のセッションで送信した PCoIP パケットの総数です。
 - **PCoIP Packets Received**
現在/前回のセッションで受信した PCoIP パケットの総数です。
 - **PCoIP Packets Lost**
現在/前回のセッションで消失した PCoIP パケットの総数です。
- バイト統計情報
 - **Bytes Sent**
現在/前回のセッションで送信した総バイト数です。
 - **Bytes Received**
現在/前回のセッションで受信した総バイト数です。
- **Round Trip Latency**
PCoIP システムのラウンドトリップ（たとえば、ホストからクライアントへ行き、ホストに戻る）およびネットワーク遅延の最小値、平均値、最大値をミリ秒単位（±1 ms）で示します。

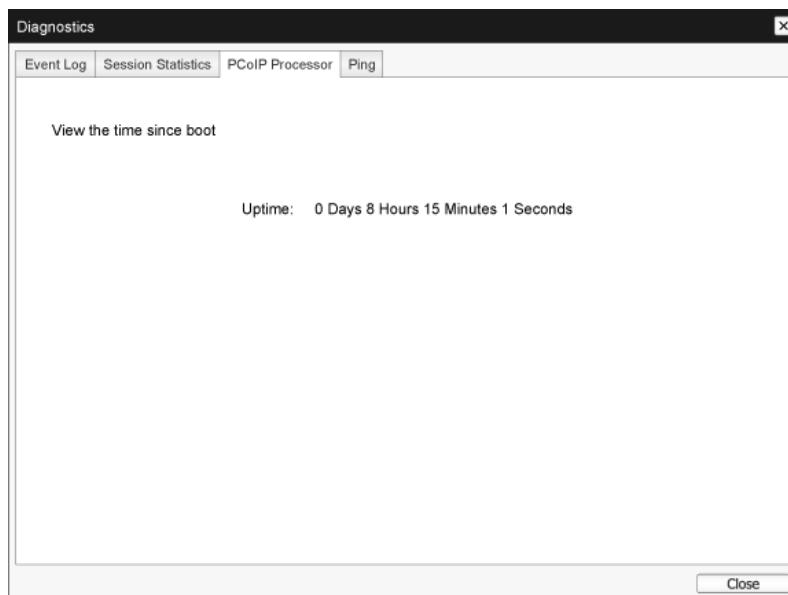
PCoIP Processor タブ

PCoIP Processor ページでは、ホストまたはクライアントをリセットしたり、クライアント PCoIP プロセッサが最後に起動されてからのアップタイムを確認したりできます。



PCoIP Processor のアップタイムは、管理 Web インターフェイスで確認することもできます。

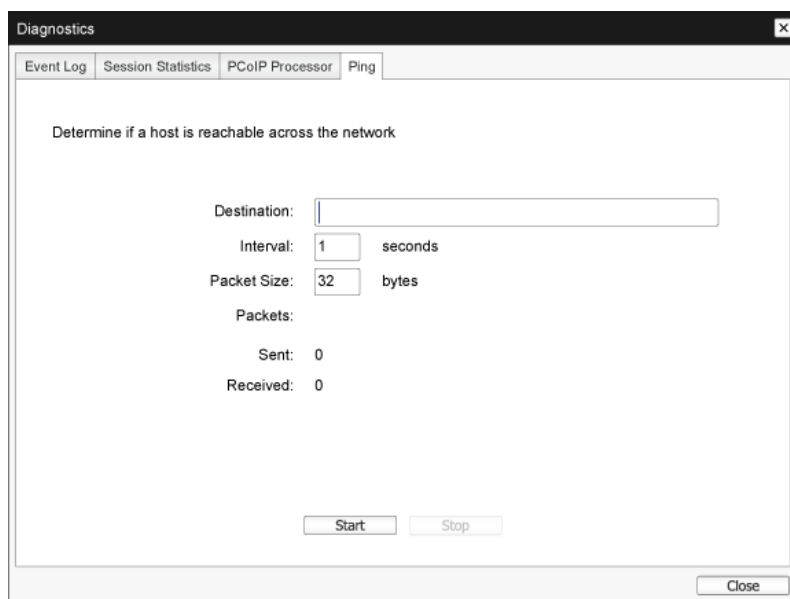
図 2-15:PCoIP Processor



Ping タブ

Ping ページでは、IP ネットワークを介してデバイスにアクセスできるかを確認できます。ホストにアクセスできるかを判断するのに役立ちます。リリース 3.2.0 以降のファームウェアでは、ping コマンドの “do not fragment flag” が強制実行されるため、この機能を使用して最大 MTU サイズを判定できます。

図 2-16: Ping



- Ping 設定
 - **Destination**
ping 先の IP アドレスまたは FQDN
 - **Interval**
ping パケットの間隔
 - **Packet Size**
ping パケットのサイズ
- **Packets**
 - **Sent**
送信された ping パケット数
 - **Received**
受信した ping パケット数

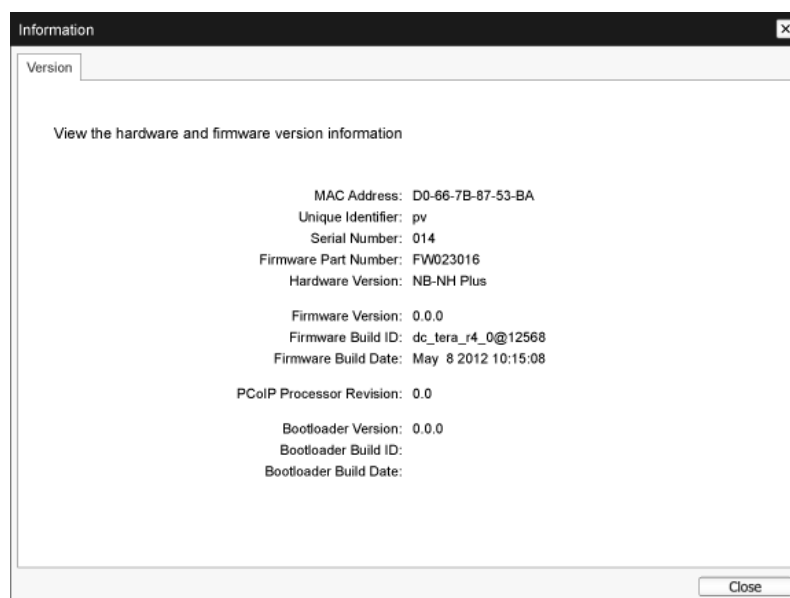
2.4.6 Information ウィンドウ

Information ページでは、デバイスの詳細を確認できます。管理 Web インターフェイスには、バージョン、VPD、および接続されているデバイスの情報が表示されます。OSD からデバイスのバージョン情報を確認できます。



Version ページでは、デバイスのハードウェアおよびファームウェアのバージョンの詳細を確認できます。

図 2-17: Version



- VPD 情報

VPD (Vital Product Data) は、各ポータルまたはホストを特定するために工場で設定された固有情報です。

- **MAC Address**

ホスト/クライアント固有の MAC アドレス

- **Unique Identifier**

ホスト/クライアント固有の識別子

- **Serial Number**

ホスト/クライアント固有のシリアル番号

- **Firmware Part Number**

現在のファームウェアの部品番号

- **Hardware Version**

ホスト/クライアントのハードウェア バージョン番号

- ファームウェア情報

Firmware Information は、現在の PCoIP ファームウェアの詳細情報を反映します。

- **Firmware Version**

現在のファームウェアのバージョン

- **Firmware Build ID**

現在のファームウェアのリビジョン コード

- **Firmware Build Date**

現在のファームウェアのビルド 日付

- **PCoIP Processor Revision**
PCoIP プロセッサのシリコン リビジョンです。シリコンのリビジョン B は 1.0 で表されます。
- **ブートローダー情報**
ブートローダー情報は、現在の PCoIP ブートローダーの詳細を反映しています。
 - **Bootloader Version**
現在のブートローダーのバージョン
 - **Bootloader Build ID**
現在のブートローダーのリビジョン コード
 - **Bootloader Build Date**
現在のブートローダーのビルド日付

2.4.7 User Settings ウィンドウ

User Settings ページでは、認証モード、マウスとキーボード設定、PCoIP プロトコルの画像品質、およびディスプレイトポロジを定義するタブにアクセスできます。

User Settings メニューには、以下のタブがあります。

- | | | |
|----------------------|---------------------------|-----------------------|
| • VMware View | • Mouse | • Keyboard |
| • Image | • Display Topology | • Touch Screen |

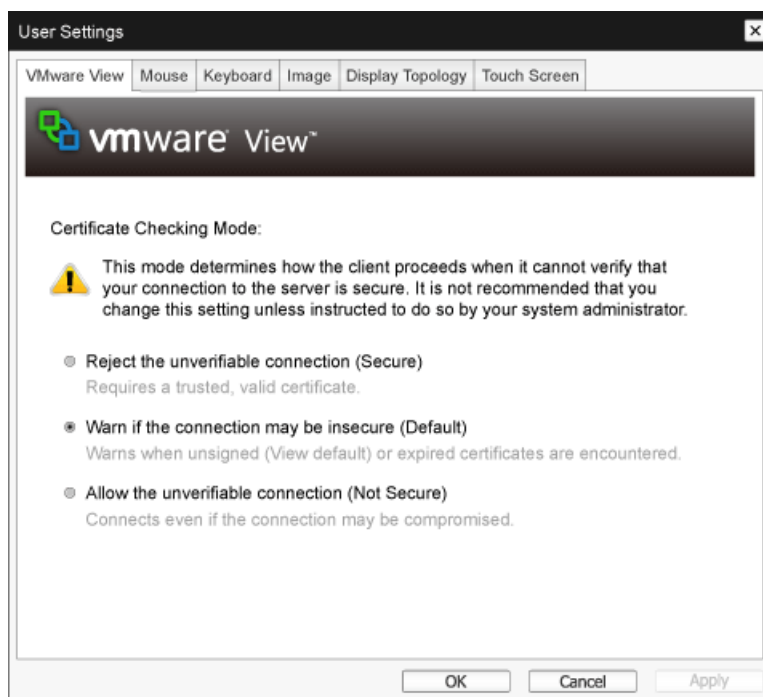
VMware View タブ

VMware View ページでは、VMware View Connection Server を使用するための設定を行うことができます。



- 管理 Web インターフェイスで **VCS Certificate Check Mode Lockout** が有効になっている場合は、このページで設定を変更することはできません。
- **VMware View** パラメータは、管理 Web インターフェイスを使用して設定することもできます。

図 2-18: VMware View 設定



- **Reject the unverifiable connection**
信頼できる有効な証明書がインストールされていない場合は、接続を拒否するようにクライアントを設定します。
- **Warn if the connection may be insecure**
未署名または失効した証明書が見つかった場合は、警告を表示するようにクライアントを設定します。証明書の署名が自己署名でなく、zero client trust store も空の場合に、警告を表示するようにクライアントを設定することもできます。
- **Allow the unverifiable connection**
すべての接続を許可するようにクライアントを設定します。

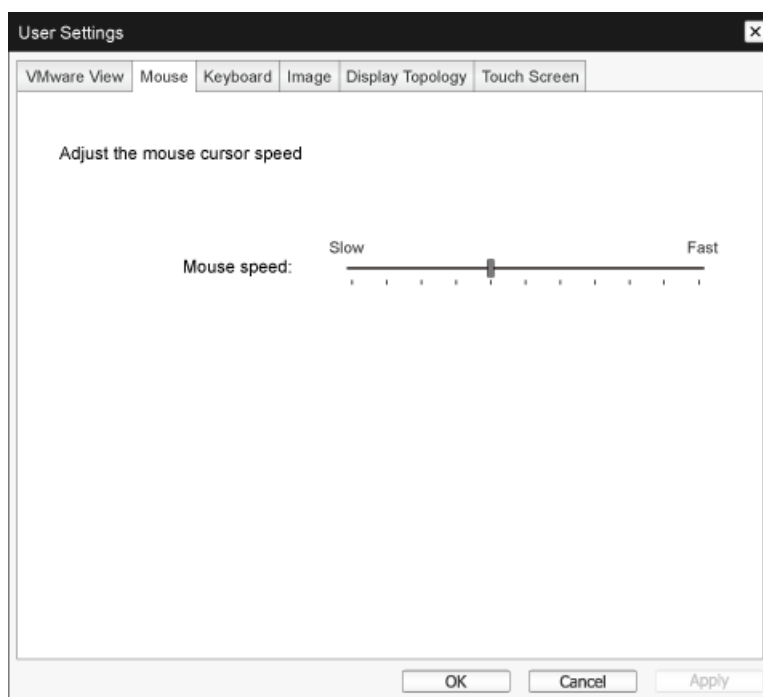
Mouse タブ

Mouse ページでは、OSD セッションにおけるマウス カーソルの速度を変更できます。



PCoIP セッションがアクティブな場合は、ローカル キーボード ホスト ドライバの機能を使用していない限り、この OSD のマウス カーソルの速度設定は、マウス カーソルの設定には影響を与えません。詳細については、“PCoIP Host Software for Windows User Guide: TER0810001” を参照してください。この機能は OSD からのみ利用可能です。この設定は管理 Web インターフェイスでは利用できません。

図 2-19:Mouse



- **Mouse Speed**

マウス カーソルの速度を設定します。



マウスの速度は、PCoIP ホスト ソフトウェアからも設定できます。詳細については、“PCoIP Host Software for Windows User Guide: TER0810001” を参照してください。

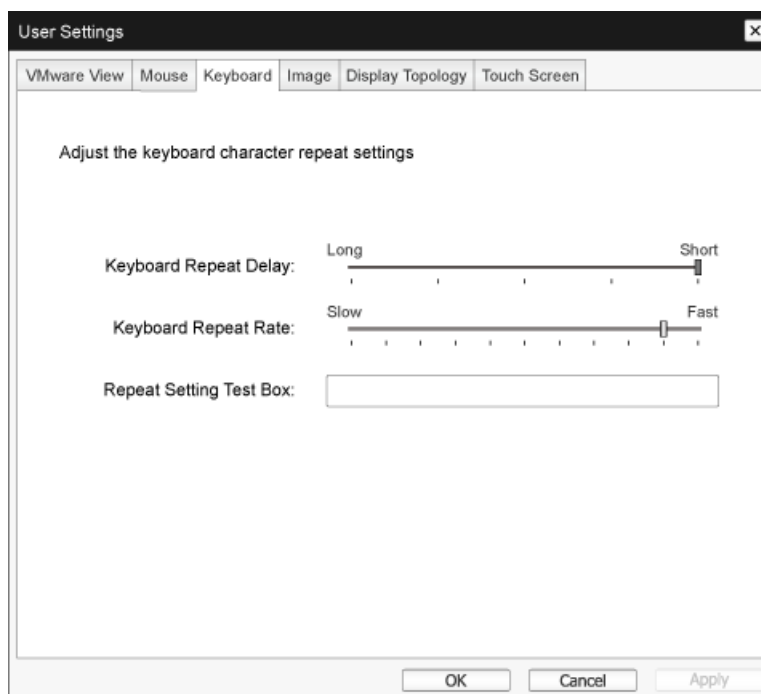
Keyboard タブ

Keyboard ページでは、OSD セッションのキー入力設定を変更できます。



- PCoIP セッションがアクティブな場合は、ローカル キーボード ホスト ドライバの機能を使用していない限り、このキーボード設定は、キーボード設定には影響を与えません。詳細については、“PCoIP Host Software for Windows User Guide: TER0810001”を参照してください。この設定は OSD からのみ利用可能です。管理 Web インターフェイスには表示されません。
- キー入力設定は PCoIP ホスト ソフトウェアからも設定できます。詳細については、“PCoIP Host Software for Windows User Guide: TER0810001”を参照してください。

図 2-20:Keyboard



- **Keyboard Repeat Delay**
クライアント側のキー入力の開始までの待ち時間を設定します。
- **Keyboard Repeat Rate**
クライアント側のキー入力の間隔を設定します。
- **Repeat Settings Test Box**
選択したキーボード設定をテストします。

Image

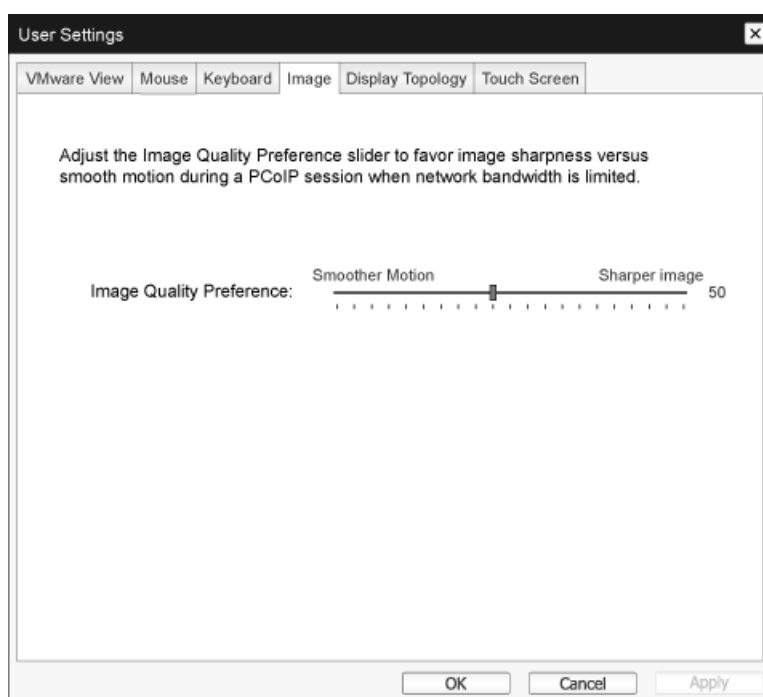
Image ページでは、PCoIP セッションの画像品質を変更できます。この変更は、PCoIP ゼロ クライアントとリモート ワークステーションの PCoIP ホスト カードとの間のセッションに適用されます。

VMware View 仮想デスクトップの画像品質を設定するには、PCoIP セッション変数を調整します。詳細については、“VMware View 4 to PCoIP Client WAN Network Guidelines” を参照してください。



Image パラメータは、管理 Web インターフェイスを使用して設定することもできます。

図 2-21:Image



- **Image Quality Preference**

ネットワークの帯域幅が限られている場合に、スライダを使用して PCoIP セッション中の画像の鮮明度と動きの滑らかさのバランスを調整します。



PCoIP ホスト ソフトウェアがインストールされている場合は、ホストからもこのフィールドにアクセスできます。スライダはホスト ソフトウェアの **Image** タブにあります。この設定は、リリース 5.0 以前の **VMware View** 仮想デスクトップによる PCoIP セッションでは機能しません。

Display Topology

Display Topology ページでは、PCoIP セッションの表示位置、回転、および解像度を変更できます。ディスプレイポロジ機能をゼロ クライアントと仮想マシン (VM) との間の PCoIP セッションに適用するには、**VMware View** 4.5 以降が必要です。

ディスプレイポロジ機能をゼロ クライアントと PCoIP ホストとの間の PCoIP セッションに適用するには、ホストに PCoIP ホスト ソフトウェアをインストールする必要があります。詳細については、“PCoIP Host Software for Windows User Guide: TER0810001”を参照してください。

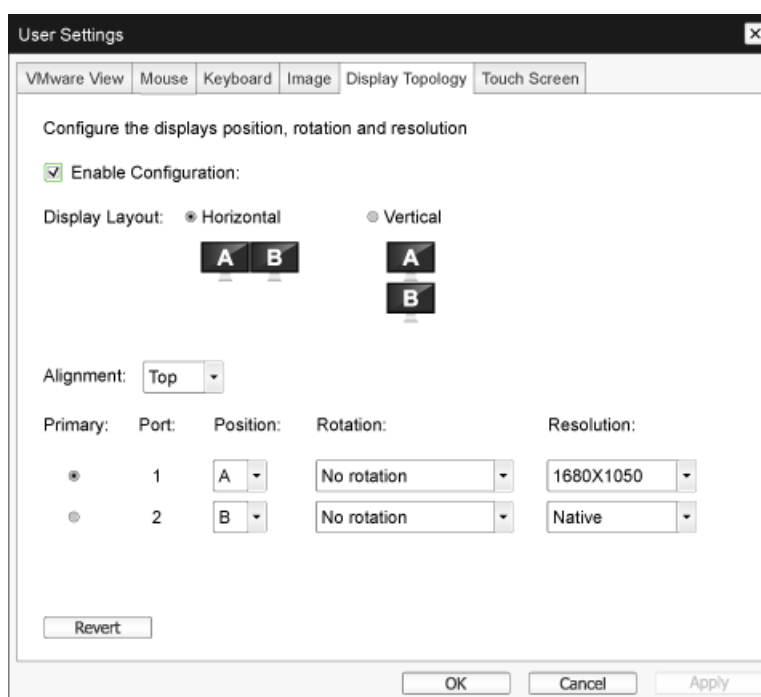


管理 Web インターフェイスには **Display Topology** タブに対応するメニューはありません。

ホスト カードとゼロ クライアントとの間の PCoIP セッションのディスプレイポロジ機能の詳細については、“PCoIP Host Software for Windows User Guide: TER0810001”を参照してください。

ディスプレイポロジ設定を変更するには、ゼロ クライアントの OSD から Options をクリックし、User Settings インターフェイスから **Display Topology** タブを選択します。**VMware View** を使用している場合は、仮想マシンの Windows ディスプレイ設定を使用してこれらの設定を変更しないでください。

図 2-22: Display Topology



- **Enable Configuration**

有効にすると、表示位置、回転および解像度を設定できます。設定は、**Apply** または **OK** をクリックすることによって保存され、デバイスをリセットすることによって適用されます。

- **Display Layout**

ディスプレイ (A および B) のレイアウトを横表示と縦表示のどちらにするかを選択します。この設定は、机の上のディスプレイの物理的なレイアウトに基づいて行います。

- **Horizontal** :A と B を横に並べて配置する場合に選択します。A の位置は B の左側になります。
- **Vertical** :A と B を縦に並べて配置する場合に選択します。A の位置は B の上になります。



最大で 2 台のディスプレイを同時に使用できます。

- **Alignment**

A と B のサイズが異なる場合に、各ディスプレイを配置する位置を選択します。



この設定は、一方のディスプレイから他方のディスプレイにカーソルを移動したときに、画面のどのエリアが使用されるかに影響を与えます。ドロップダウン リストに表示される配置オプションは、ディスプレイのレイアウトを横表示と縦表示のどちらにしたかによって異なります。

- **Primary**

ゼロ クライアントのどちらの DVI ポートをプライマリ ポートにするかを設定します。



プライマリ ポートに接続されたディスプレイがプライマリ ディスプレイになります (つまり、PCoIP セッションの開始前に OSD メニューが表示されるディスプレイ、またセッションの開始後に Windows タスクバーがあるディスプレイ)。

- **Port 1**:ゼロ クライアントの DVI-1 がプライマリ ポートになるように設定します。
- **Port 2**:ゼロ クライアントの DVI-2 がプライマリ ポートになるように設定します。

- **位置**

Port 1 および **Port 2** に物理的に接続されているディスプレイを指定します。

- **Rotation**

Port 1 および **Port 2** のディスプレイの回転角度を設定します。

- No rotation
- 90° clockwise
- 180° rotation
- 90° counter-clockwise

- **Resolution**

仮想マシンまたはホストとゼロ クライアントとの間の PCoIP セッションのディスプレイ解像度を設定できます。ゼロ クライアントはモニターのサポートされているディスプレイ解像度を検出してドロップダウン メニューに表示します。デフォルトでは、ディスプレイのネイティブ解像度が使用されます。

- **Revert**

このページの設定を前回保存した設定にリセットします。

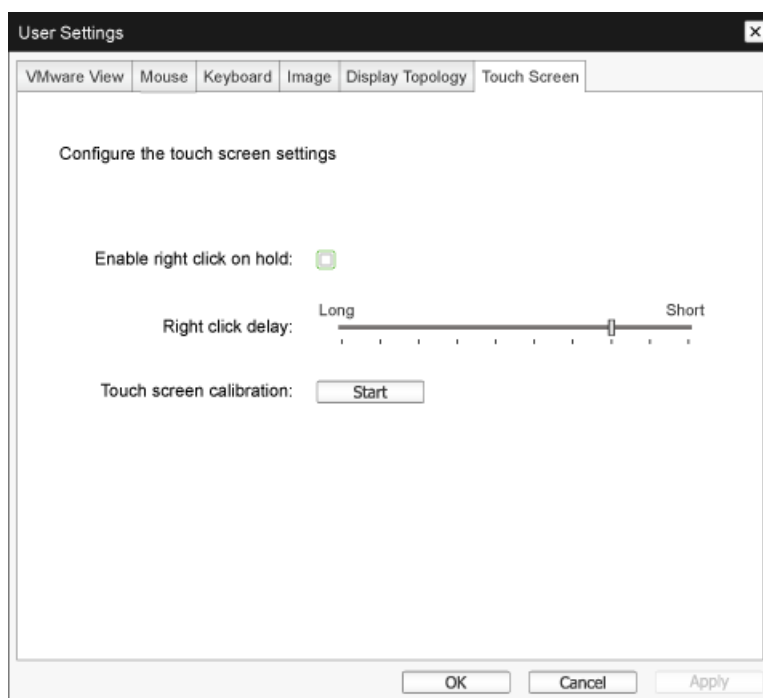
Touch Screen

Touch Screen ページでは、接続されている **Elo TouchSystems** タッチ スクリーン ディスプレイの一部設定の変更と補正が可能です。



Touch Screen ページは OSD からのみ利用できます。この設定は管理 Web インターフェイスでは利用できません。

図 2-23: Touch Screen



- Enable right click on hold**
 このチェックボックスを選択すると、スクリーンにタッチして数秒間ホールドすることで右クリックをエミュレートできます。無効にした場合、右クリックはサポートされません。
- Right click delay**
 ポインタの位置を Long と Short の間でスライドさせることで、右クリックをエミュレートするためにスクリーンをタッチ アンド ホールドする長さを調整できます。
- Touch screen calibration**
 タッチ スクリーンを初めてゼロ クライアントに接続すると、補正プログラムが起動します。タッチ スクリーン上に表示される 3 つのターゲットのそれぞれにタッチします。
 補正をテストするには、モニターに沿って指を滑らせカーソルが追従するかを確認します。うまくいかない場合は、補正プログラムが自動的に起動します。補正結果は、フラッシュ メモリに記憶されます。
 補正プログラムを手動で起動するには、OSD **Touch Screen** ページから **Start** をクリックします。その後は画面の指示に従ってください。

2.4.8 Password ウィンドウ



このオプションは **Management console** プログラムから利用できます。

Password ページでは、デバイスのローカル管理パスワードを更新できます。パスワードの長さは最大 20 文字です。PCoIP デバイスの中には、パスワード保護がデフォルトで無効になっているものもあります。それらのデバイスでは **Password** ページを利用できません。デバイスのパスワード保護を有効にするには、PCoIP Management Console を使用します。

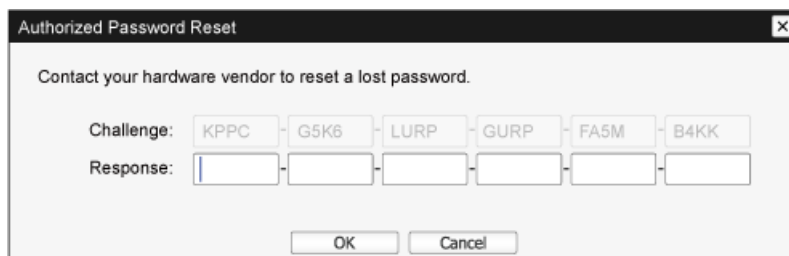


- このパラメータは、管理 Web インターフェイスとローカル **OSD** GUI に影響を与えます。
- パスワードを紛失するとクライアントが使用できなくなることがあるため、クライアント パスワードを更新するときはご注意ください。

図 2-24: **Change Password**

- **Old Password**
パスワードを更新する場合は、このフィールドと現在の管理パスワードが一致している必要があります。
 - **New Password**
管理 Web インターフェイスとローカル OSD GUI の両方の新しい管理パスワードです。
 - **Confirm New Password**
更新するには、このフィールドと **New Password** フィールドのパスワードが一致する必要があります。
 - **Reset**
クライアント パスワードを紛失した場合は、**Reset** ボタンをクリックすることでクライアントベンダーの応答コードを要求できます。チャレンジ コードがベンダーに送信されます。ベンダーは問い合わせについて確認し、Teradici により承認された場合は回答コードを返信します。回答コードを正しく入力すると、クライアントのパスワードが空白の値に設定されます。かならず新しいパスワードを入力してください。
-  パスワードのリセットに関する認証が必要な場合の詳細については、クライアントのベンダーにお問い合わせください。このオプションは、管理 Web インターフェイスでは利用できません。OSD からのみ利用可能です。

図 2-25: Authorized Password Reset



Authorized Password Reset

Contact your hardware vendor to reset a lost password.

Challenge: KPPC G5K6 LURP GURP FA5M B4KK

Response: [] [] [] [] [] []

OK Cancel



PCoIP の使用法に関する説明は予告なく変更されることがあります。最新の情報については、Teradici 社の Web サイト (<http://www.teradici.com>) をご確認ください。

2.4.9 Wake On LAN

この機能を使用すれば、外部のシステムから既定のコマンドをネットワーク経由で送信し、製品の電源をオンにすることができます。

ネットワーク経由で PC とデータ通信を行うことができ、製品にコマンドを送信できることを確認してください。また、Wake on LAN の信号を生成できるプログラムがあることを確認してください。



- この機能を使用するには、製品の電源がオフのときに常時電源に接続されている必要があります。
- この機能は製品の電源をオンにするためのものです(製品の電源をオフにすることはできません)。

設定方法

- 1 ネットワークを通じて製品を PC に接続するには、製品と PC の IP アドレスを設定します。
- 2 製品の管理 Web ページにアクセスするには、PC の URL アドレス フィールドに製品に対して設定されている IP アドレスを入力します。
- 3 電源設定を変更するには、ログイン (Log In) して **Permissions** → **Power** を選択します。
- 4 製品の使用環境に合わせて設定を行います。(下の図を参照してください。)

Log Out PCoIP® Zero Client

Home Configuration / Permissions / Diagnostics / Info / Upload

Power

Configure power-off permissions (client only)

Enable Wake-on-USB: ☐

Enable Wake-on-LAN: ☒

Power on after power loss: ☒

Client Power Button: Hard Power-off only ▼

2.4.10 Wake on USB

製品の管理 Web ページで **Wake On USB** を有効にした後に電源をオフにすると、システムがスタンバイモードに切り替わります。

Wake on USB 機能を使用すると、キーボードやマウスの入力状態の変化によってシステムがスタンバイモードから通常モードに切り替わります。



入力状態の変化とは、マウスのボタンをクリックしたり、キーボードのキーを押したりすることです。

設定方法

- 1 ネットワークを通じて製品を PC に接続するには、製品と PC の IP アドレスを設定します。
- 2 製品の管理 Web ページにアクセスするには、PC の URL アドレス フィールドに製品に対して設定されている IP アドレスを入力します。
- 3 電源設定を変更するには、ログイン (Log In) して **Permissions** → **Power** を選択します。
- 4 製品の使用環境に合わせて設定を行います。(下の図を参照してください。)

Log Out PCoIP® Zero Client

Home Configuration / Permissions / Diagnostics / Info / Upload

PCoIP™

Power

Configure power-off permissions (client only)

Enable Wake-on-USB: ☒

Enable Wake-on-LAN: ☐

Power on after power loss: ☒

Client Power Button: Hard Power-off only ▼

Apply Cancel

2.4.11 OSD Logo Upload

OSD Logo Upload ページを使用して、Teradici OSD のロゴ表示を変更できます。

設定方法

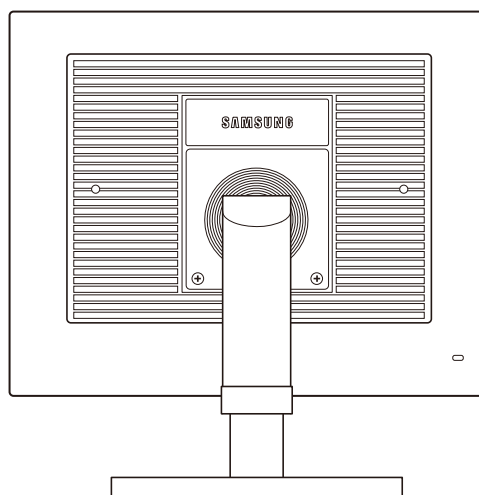
- 1 ネットワークを通じて製品を PC に接続するには、製品と PC の IP アドレスを設定します。
- 2 製品の管理 Web ページにアクセスするには、PC の URL アドレス フィールドに製品に対して設定されている IP アドレスを入力します。
- 3 ログイン (Log In) して **Upload** → **OSD Logo** を選択します。**OSD Logo Upload** ページが表示されます。(下の図を参照してください。)
- 4 ロゴを置き換える新しいファイルを選択して **Upload** を押します。



OSD ロゴ ファイルには、256x64 ピクセル未満の 24bpp ビットマップ ファイルを使用してください。

The screenshot shows the PCoIP Zero Client web interface. At the top, there is a navigation bar with 'Log Out' on the left and 'PCoIP® Zero Client' on the right. Below this is a breadcrumb trail: 'Home / Configuration / Permissions / Diagnostics / Info / Upload'. The main content area has a dark header with the PCoIP logo and a series of small icons. Below the header, the page title is 'OSD Logo Upload'. The text below the title reads: 'Upload an OSD logo to be displayed on the local GUI (client only)' and 'The OSD logo must be a 24bpp bitmap that does not exceed 256 pixels by 64 pixels. Any other images will be displayed incorrectly, or not at all.' There is a form with a label 'OSD logo filename:' followed by a text input field and a 'Browse...' button. Below the input field is an 'Upload' button.

3.1 接続の前に



3.1.1 接続前のチェックポイント

- 入力信号デバイスを接続する前に、各デバイスに付属するユーザーマニュアルをお読みください。
入力信号デバイスのポートの位置および数は、デバイスによって異なる場合があります。
- すべての接続作業が完了するまで、電源ケーブルを接続しないでください。
接続作業中に電源ケーブルを接続すると、製品を損傷する場合があります。
- 接続する製品の背面にあるポートのタイプを確認します。

3.2 PC の接続と使用

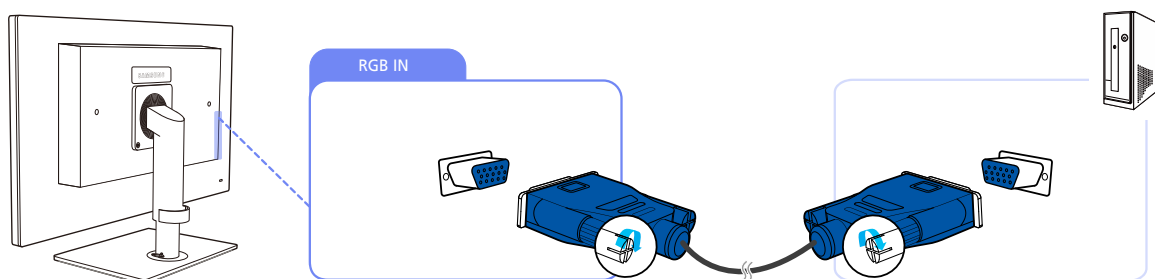
3.2.1 PC との接続

- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
- お使いの PC に適した接続方法を選んでください。



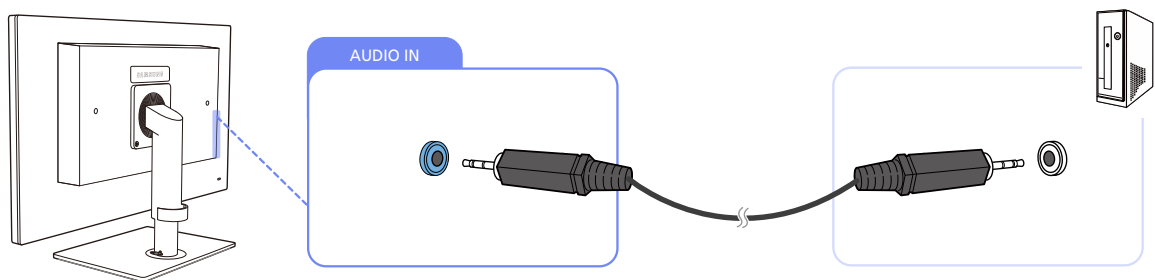
接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

D-SUB ケーブル (アナログ タイプ) による接続



- 製品の背面にある [RGB IN] ポートと PC の RGB ポートを D-SUB ケーブルで接続します。
- DC 電源アダプタを製品本体とコンセントに接続します。次に、PC の電源スイッチをオンにします。
(詳細については、“2.2.7 電源の接続”を参照してください。)
- [□/⬅]を押して入力ソースを **アナログ** に変更します。

ステレオ ケーブルの接続

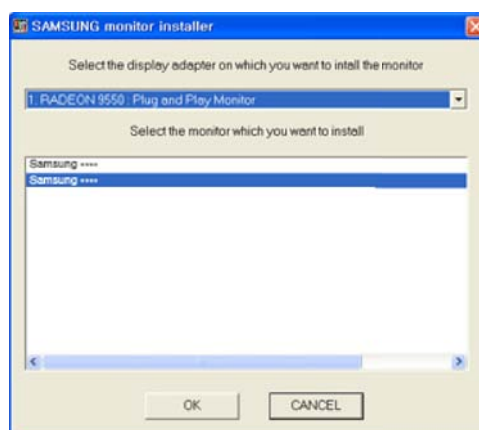


- モニター背面の [AUDIO IN] ポートを PC のサウンド カードに接続します。

3.2.2 “Windows Driver” のインストール

- 適切なドライバをインストールすることで、製品の最適な解像度および周波数を設定することができます。
- インストール用のドライバは、製品に付属している CD に含まれています。

- 1 製品に付属するユーザーマニュアル CD を、CD-ROM ドライブに挿入します。
- 2 “Windows Driver”をクリックします。
- 3 画面上に表示される手順に従って、インストールを行います。
- 4 モデルの一覧からご使用のモデルを選択します。



- 5 画面のプロパティ に移動して、適切な解像度とリフレッシュ レートになっていることを確認します。

詳細は、Windows OS のマニュアルを参照してください。

3.2.3 最適な解像度の設定

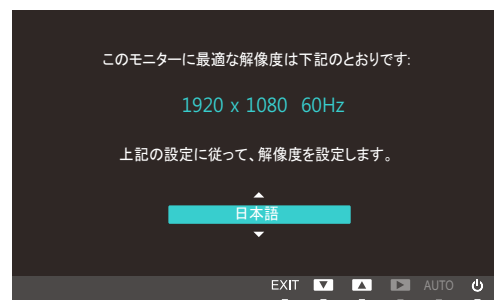
購入後に製品の電源を初めてオンにすると、最適な解像度設定についての通知メッセージが表示されます。

言語を選択し、解像度を最適な値に変更します。

NC191



NC241



1 [▼/▲]を押して該当する言語に移動し、[□/⊞]を押します。

2 通知メッセージを非表示にするには、[MENU]を押します。



- 最適な解像度が選択されていない場合には、電源を一度オフにしてから再度オンにした場合でも、このメッセージが一定期間、最大 3 回表示されます。
- 最適な解像度は、PC のコントロール パネルで選択することもできます。

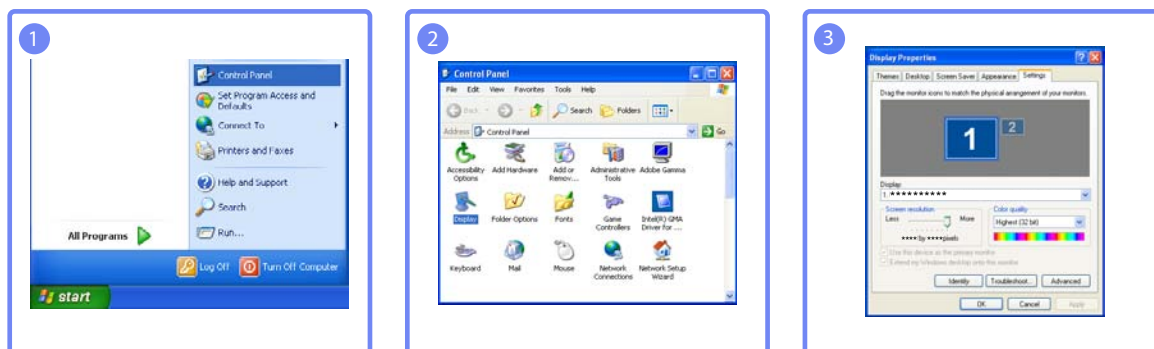
3.2.4 PC を使用した解像度の変更



- PC のコントロール パネルで、解像度とリフレッシュ レートを調整して、最適な画質にします。
- 最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。

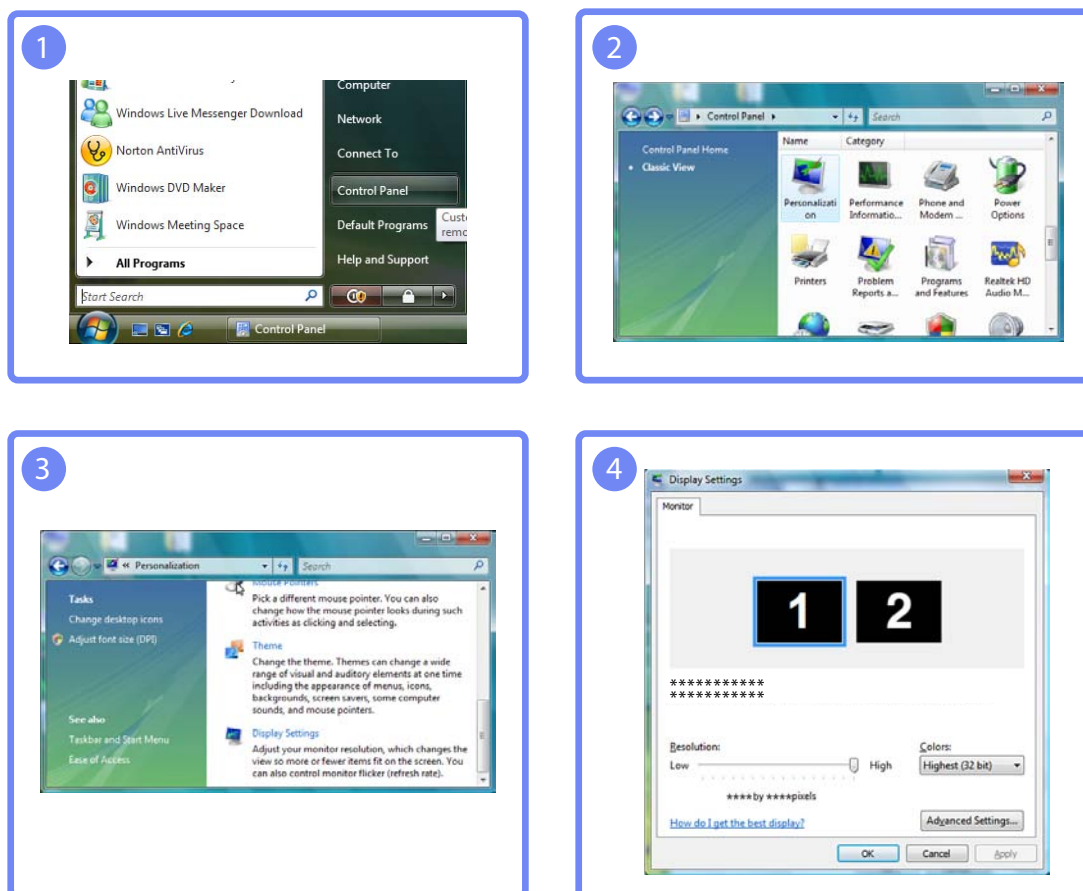
Windows XP での解像度の変更

コントロール パネル → 画面 → 設定に移動して、解像度を変更します。



Windows Vista での解像度の変更

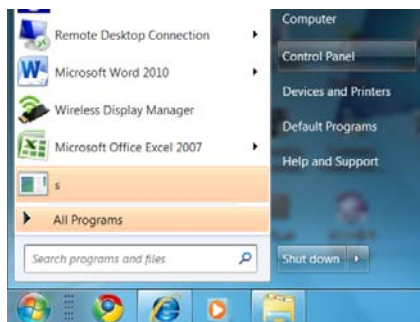
コントロール パネル → 個人設定 → 画面の設定 に移動して、解像度を変更します。



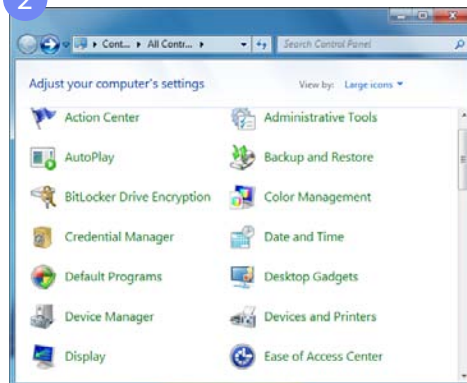
Windows 7 での解像度の変更

コントロール パネル → 画面 → 画面の解像度 に移動して、解像度を変更します。

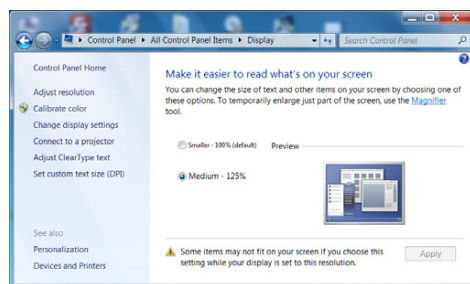
1



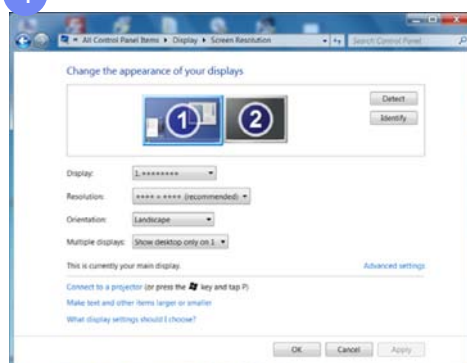
2



3



4



明るさや色温度などの画面設定を行います。

4.1 明るさ

画像の明るさを調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、画像が明るくなります。



このメニューは、SAMSUNG **MAGIC Bright** が **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。

4.1.1 明るさ の設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**明るさ**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲] ボタンを使用して**明るさ**を調整します。

4.2 コントラスト

画像と背景のコントラストを調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、コントラストが高くなり、オブジェクトがよりはっきりとします。



- このメニューは、**SAMSUNG Bright** が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、**SAMSUNG Color** が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

4.2.1 コントラストの設定

- OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⊞]を押します。
- [▼/▲]を押して**コントラスト**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- [▼/▲]ボタンを使用して**コントラスト**を調整します。

4.3 シャープネス

画像の輪郭をより鮮明に、またはソフトに調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、画像の輪郭がより鮮明になります。



- このメニューは、**SAMSUNG MAGIC Bright** が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、**SAMSUNG MAGIC Color** が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

4.3.1 シャープネスの設定

- OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⊞]を押します。
- [▼/▲]を押して**シャープネス**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- [▼/▲]ボタンを使用して**シャープネス**を調整します。

4.4 SAMSUNG MAGIC Bright

このメニューでは、製品を使用する環境に合わせて画質を最適化することができます。

明るさは好みに応じて調節できます。

4.4.1 SAMSUNG MAGIC Bright の設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU]を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して **SAMSUNG MAGIC Bright** に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- **ユーザー調整**: 必要に応じてコントラストと明るさをカスタマイズします。
 - **標準**: 文書の編集やインターネットの使用に適した画質を取得します。
 - **ゲーム**: グラフィック効果や動的動作を多く使用したゲームに適した画質を取得します。
 - **シネマ**: ビデオや DVD コンテンツに適した、TV と同じ明るさとシャープネスを取得します。
 - **ダイナミックコントラスト**: コントラストを自動調整し、バランスの取れた明るさを取得します。
- 4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⊞]を押します。
 - 5 選択されたオプションが適用されます。

4.5 粗調整

画面の周波数を調整します。



アナログ モードでのみ使用できます。

4.5.1 粗調整

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU]を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**粗調整**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]ボタンを使用して**粗調整**を行います。

4.6 微調整

画面を微調整して、映像をより鮮明にします。



アナログ モードでのみ使用できます。

4.6.1 微調整

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU]を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**映像**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**微調整**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]ボタンを使用して**微調整**を行います。

色合いの設定

画面の色合いを調整します。このメニューは、**SAMSUNG MAGIC Bright** が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。

5.1 SAMSUNG MAGIC Color

SAMSUNG MAGIC Color は、Samsung が独自に開発した新しい映像画質向上テクノロジーで、画質を低下させることなく色鮮やかな自然色を実現します。

5.1.1 SAMSUNG MAGIC Color の設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**色調**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して **SAMSUNG MAGIC Color** に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- **オフ**: **SAMSUNG MAGIC Color** を無効にします。
 - **デモ**: 通常の画面モードと **SAMSUNG MAGIC Color** モードを比較できます。
 - **フルモード**: 肌の色を含む、映像全体の画質をより鮮明にします。
 - **インテリジェント**: 肌の色以外の、映像全体の彩度を向上させます。
- 4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⊞]を押します。
 - 5 選択されたオプションが適用されます。

5.2 赤

画像の赤色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。



このメニューは、**SAMSUNG MAGIC Color** が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

5.2.1 赤の設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**色調**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**赤**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]ボタンを使用して**赤** を調整します。

5.3 緑

画像の緑色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。



このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

5.3.1 緑の設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**色調**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**緑**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]ボタンを使用して**緑**を調整します。

5.4 青

画像の青色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。



このメニューは、**SAMSUNG MAGIC Color** が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

5.4.1 青の設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**色調**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**青**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]ボタンを使用して**青**を調整します。

5.5 色温度

画像の色温度を調整します。



このメニューは、**SAMSUNG MAGIC Color** が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

5.5.1 【色温度】の設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**色調**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**色温度**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- **青色系 2**:色温度を**青色系 1**よりも寒色に設定します。
 - **青色系 1**:色温度を**標準**モードよりも寒色に設定します。
 - **標準**: 標準の色温度を表示します。
 - **赤色系 1**:色温度を**標準**モードよりも暖色に設定します。
 - **赤色系 2**:色温度を**赤色系 1**よりも暖色に設定します。
 - **ユーザー調整**:色温度をカスタマイズします。
- 4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⊞]を押します。
 - 5 選択されたオプションが適用されます。

5.6 ガンマ

映像の中間域の明るさ（ガンマ）を調整します。

5.6.1 ガンマの設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して色調に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押してガンマに移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⊞]を押します。
- 5 選択されたオプションが適用されます。

6.1 H-ポジション と V-ポジション

H-ポジション:画面を左右に動かします。

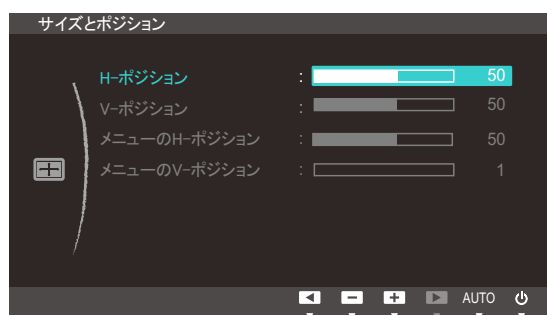
V-ポジション:画面を上下に動かします。



アナログ モードでのみ使用できます。

6.1.1 H-ポジション と V-ポジションの設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**サイズとポジション**に移動し、[□/□]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して **H-ポジション** または **V-ポジション** に移動し、[□/□]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]を押して **H-ポジション** または **V-ポジション** を設定します。

6.2 メニューのH-ポジションとメニューのV-ポジション

メニューのH-ポジション:メニューの位置を左右に動かします。

メニューのV-ポジション:メニューの位置を上下に動かします。

6.2.1 メニューのH-ポジションとメニューのV-ポジション の設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**サイズとポジション**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して **メニューのH-ポジション** または **メニューのV-ポジション** に移動し、[□/⊞] を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]を押して **メニューのH-ポジション** または **メニューのV-ポジション** を設定します。

7.1 リセット

製品に対するすべての設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

7.1.1 設定の初期化（リセット）

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**セッティングとリセット**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**リセット**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⊞]を押します。
- 5 選択されたオプションが適用されます。

7.2 言語

メニューの言語を設定します。



- 言語設定への変更は、画面のメニュー表示のみに対して適用されます。
- ご使用の PC のその他の機能には適用されません。

7.2.1 言語 の変更

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**セッティングとリセット**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**言語**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]を押して該当する言語に移動し、[□/⊞]を押します。
- 5 選択されたオプションが適用されます。

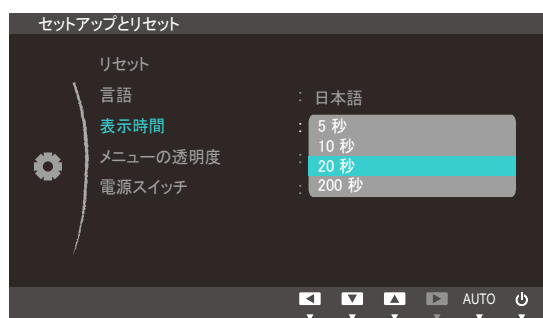
7.3 表示時間

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを一定期間使用しなかった場合に自動的に消えるよう設定します。

表示時間では、OSD メニューが消えるまでの時間を指定できます。

7.3.1 表示時間の設定

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**セッティングとリセット**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**表示時間**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



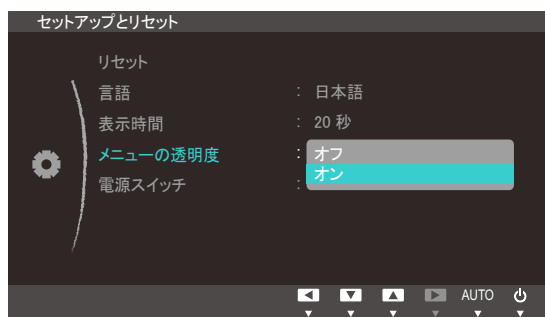
- 4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⊞]を押します。
- 5 選択されたオプションが適用されます。

7.4 メニューの透明度

メニュー ウィンドウの透明度を設定します:

7.4.1 メニューの透明度の変更

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**セッティングとリセット**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**メニューの透明度**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



- 4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⊞]を押します。
- 5 選択されたオプションが適用されます。

7.5 電源スイッチ

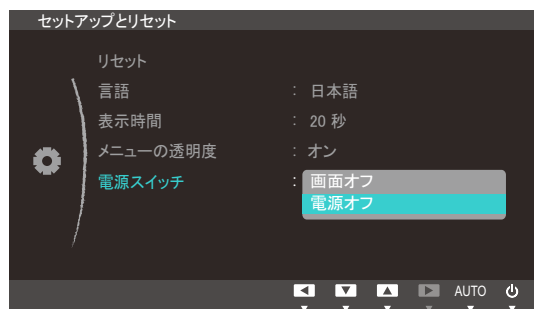
製品の電源ボタンを使用すると 2 つの機能を実行できます。



デフォルトの設定は **電源オフ** です。

7.5.1 電源スイッチの有効化

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU] を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**セッティングとリセット**に移動し、[□/⊞]を押します。
- 3 [▼/▲]を押して**電源スイッチ**に移動し、[□/⊞]を押します。以下の画面が表示されます。



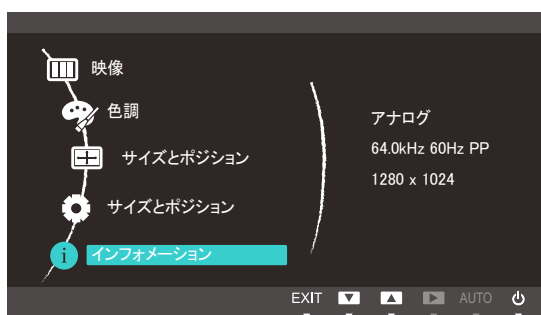
- **画面オフ** を選択すると、電源ボタンを使用して次のことを実行できます。
 - 画面のオフ: 電源ボタンを押します。メッセージの表示: "The screen will turn off in 5 seconds. Power Off: Press & hold 電源ボタン for 2 seconds." 5 秒後に画面がオフになります。製品正面の電源インジケータが 3 秒間の消灯と 1 秒間の点灯を繰り返します。
 - 画面/電源オン: 電源ボタンを押します。
 - 電源オフ: 電源ボタンを 2 秒以上押し続けます。
 - **電源オフ** が選択されているときに製品をオンまたはオフにするには、電源ボタンを押します。
- 4 [▼/▲]を押して該当するオプションに移動し、[□/⊞]を押します。
 - 5 選択されたオプションが適用されます。

8.1 インフォメーション

現在の入力ソース、周波数および解像度を表示します。

8.1.1 インフォメーションの表示

- 1 OSDガイドを表示するには、製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次に、[MENU]を押すと対応するメニュー画面が表示されます。
- 2 [▼/▲]を押して**インフォメーション**に移動します。現在の入力ソース、周波数および解像度が表示されます。



表示されるメニューは製品のモデルによって異なる場合があります。

8.2 起動画面での 音量 の設定

OSDガイドの表示中に、[●] ボタンを押して**音量**を調整します。

- 1 製品前面のいずれかのボタンを押して OSD ガイドを表示してください（メニュー画面が表示されない場合）。次に、[●] を押します。
- 2 以下の画面が表示されます。



- 3 [▼/▲]ボタンを使用して**音量**を調整します。

9.1 Natural Color

9.1.1 Natural Color とは?

PC を使用しているときの問題として、画面に表示される色が印刷したときの色またはスキャナーやデジタル カメラから入力されたソース画像の色と異なる場合がある、ということがあります。

Natural Color は、Samsung Electronics がこの問題を解決するために開発した色管理システムです。このソフトウェアはサムスンの製品でのみ動作し、画面に表示される色を調整して印刷したときの画像の色と同じになるようにします。詳しくは、ソフトウェアのオンライン ヘルプ (F1) を参照してください。

Natural Color はオンラインで入手できます。以下の Web サイトからダウンロードしてインストールすることができます。

http://www.samsung.com/us/consumer/learningresources/monitor/naturalcolorexpert/pop_download.html

9.2 MultiScreen



MultiScreen プログラムは、VDI サーバーの仮想マシンまたは互換性のある Windows シリーズのオペレーティング システムを搭載したホスト PC にインストールできます。

仮想デスクトップ インフラストラクチャ : **VMware View** と **Teradici Hostcard** を搭載した PC



MultiScreen

MultiScreen は、複数の画面に区切ってモニターを複数のユーザーが使用できるようにします。

9.2.1 ソフトウェアのインストール

- 1 CD を [CD-ROM] ドライブに挿入します。
- 2 “MultiScreen” セットアップ プログラムを選択します。



ソフトウェア インストールのポップアップ画面がメイン画面に表示されない場合には、[CD-ROM] で “MultiScreen” セットアップ ファイルを探してダブルクリックします。

- 3 インストール ウィザードが表示されたら、“Next”をクリックします。
- 4 画面上に表示される手順に従って、インストールを行います。



- このソフトウェアは、インストール後にコンピュータを再起動しないと正常に動作しない場合があります。
- コンピュータ システムと製品の仕様によっては、“MultiScreen” アイコンが表示されない場合があります。
- ショートカット アイコンが表示されない場合には、“F5” キーを押します。

インストールに関する制限と問題 (MultiScreen)

“MultiScreen” のインストールは、グラフィック カード、マザーボードおよびネットワーク環境による影響を受けることがあります。

オペレーティング システム

“OS”

- “Windows 2000”
- “Windows XP Home Edition”
- “Windows XP Professional”
- “Windows Vista 32bit”
- “Windows 7 32bit”



“MultiScreen” では、“Windows 2000” 以降のオペレーティング システムが推奨されます。

“ハードウェア”

- 最低 32MB のメモリ
- 最低 60MB のハードディスク空き容量

9.2.2 ソフトウェアの削除

Start (スタート) をクリックし、Settings (設定)/Control Panel (コントロール パネル) を選択して Add or Remove Programs (プログラムの追加と削除) をダブルクリックします。

プログラム リストから “MultiScreen” を選択し、Add/Delete (変更と削除) ボタンをクリックします。

10.1 Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に

10.1.1 製品のテスト

 サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に、以下の手順で製品のテストを行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

製品のテスト機能を使用して、製品が正常に動作しているかどうかを確認します。

製品と PC が正しく接続されているのに画面に何も表示されず、電源インジケータが点滅する場合には、自己診断テストを実行します。

- 1 PC と製品の両方の電源をオフにします。
- 2 製品からケーブルを外します。
- 3 製品の電源をオンにします。
- 4 **信号ケーブルを確認してください**というメッセージが表示された場合には、製品は正常に動作しています。

 画面に何も映らないままのときには、PC システム、ビデオ コントローラおよびケーブルを確認します。

10.1.2 解像度と周波数の確認

サポートされている解像度を超えている場合（“11.3 標準信号モード表”参照）には、**最適なモードはありません**というメッセージが少しの間表示されます

10.1.3 以下について確認します。

インストールの問題 (PC モード)	
画面がオンとオフを繰り返す。	製品と PC 間のケーブルが正しく接続されていること、およびコネクタがしっかりと固定されていることを確認します。（“3.2 PC の接続と使用”参照）。
画面の問題	
電源 LED が消灯している。画面がオンにならない。	電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（“3.2 PC の接続と使用”参照）。

画面の問題	
信号ケーブルを確認してくださいというメッセージが表示される。	製品にケーブルが正しく接続されていることを確認します。("3.2 PC の接続と使用"参照)。 電源がオンになっている製品に装置が接続されていることを確認します。
最適なモードではありません と表示される。	このメッセージは、グラフィック カードからの信号が製品の最大解像度または最大周波数を超えている場合に表示されます。 標準信号モード表 (102 ページ) を参照し、製品性能に適した最大解像度および最大周波数に変更します。
画面の画像がゆがんで見える。	製品のケーブル接続を確認します ("3.2 PC の接続と使用"参照)。
画面がはっきりしない。画面がぼやけてみえる。	粗調整 (77 ページ) および 微調整 (78 ページ) を行います。
	アクセサリ (ビデオの拡張ケーブルなど) を取り外して再度試してみます。
	解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。("11.1 一般"参照)。
画面が安定せず震えて見える。	PC 用の解像度と周波数が製品の対応する解像度と周波数の範囲に設定されていることを確認します。次に、このマニュアルおよび製品の インフォメーション メニューに掲載されている標準信号モード表 (102 ページ) を参照して、設定を変更します。
画面の画像の左側に影やゴーストがある。	
画面が明るすぎる。画面が暗すぎる。	明るさ (73 ページ) と コントラスト (74 ページ) を調整します。
画面の色が正しくない。	色調 設定を変更します。("色合いの設定"参照)。
画面の色に影があり、ゆがんで見える。	色調 設定を変更します。 ("色合いの設定"参照)。
白が正しく白色に見えない。	色調 設定を変更します。 ("色合いの設定"参照)。
画面に画像が表示されず、LED が 0.5~1 秒間隔で点滅する。	製品が省電力モードになっています。
	キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、前の画面に戻ります。

入力信号装置お n 問題

PC の起動時にビープ音が鳴る。

PC の起動時にビープ音が鳴る場合は、PC の点検修理を行ってください。

10.2 Q & A

質問	回答
周波数の変更方法は?	グラフィック カードで周波数を設定します。 - Windows XP:コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → 設定 → 詳細設定 → モニタを選択し、モニタの設定のリフレッシュ レートを調節します。 - Windows ME/2000:コントロール パネル → 画面 → 設定 → 詳細 → モニタ に移動し、モニタの設定のリフレッシュ レートを変更します。 - Windows Vista:コントロール パネル → デスクトップのカスタマイズ → 個人設定 → 画面の設定 → 詳細設定 → モニタ に移動し、モニタの設定のリフレッシュ レートを変更します。 - Windows 7 :コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → 画面の解像度 → 詳細設定 → モニタを選択し、モニタの設定のリフレッシュ レートを調節します。
解像度の変更方法は?	- Windows XP:コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → 設定 で解像度を調整します。 - Windows ME/2000:コントロール パネル → 画面 → 設定 で解像度を調整します。 - Windows Vista:コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → 画面の設定 で解像度を調整します。 - Windows 7 :コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 画面 → 解像度の調整 で解像度を調整します。
省電力モードの設定方法は?	- Windows XP:コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → スクリーン セーバーの設定 または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 - Windows ME/2000:コントロール パネル → 画面 → スクリーン セーバーの設定 または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 - Windows Vista:コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → スクリーン セーバーの設定 または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 - Windows 7 :コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → スクリーン セーバーの設定 または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。



調整の詳細な手順については、ご使用の PC またはグラフィック カードのユーザー マニュアルを参照してください。

11.1 一般


<http://www.samsung.com/jp>

モデル名		NC191	NC241
パネル	画像サイズ	19 インチ (48 cm)	24 インチ (60 cm)
	表示範囲	376.32 mm (H) x 301.06 mm (V)	521.28 mm (H) x 293.22 mm (V)
同期	水平周波数	31~80 kHz	
	垂直周波数	56~75 Hz	
表示色		1670万色	
解像度	最適解像度	1280 x 1024 @ 60 Hz	1920 x 1080 @ 60 Hz
	最大解像度	1280 x 1024 @ 75 Hz	1920 x 1080 @ 60 Hz
最大ピクセル クロック		135.00 MHz (アナログ/デジタル)	148.50 MHz (アナログ/デジタル)
サーバー コネクタ		ギガビット イーサネット ポート (LAN ポート)	
電源		この製品は 100~240V を使用します。 標準の電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを参照してください。	
信号コネクタ		RGB IN, DVI OUT	
スピーカー		1 W x 2 (ステレオ)	
寸法 (W x H x D) / 重量	スタンド付き	(最小) 407.0 x 352.9 x 210.0 mm / 5.0 kg (最大) 407.0 x 452.9 x 210.0 mm / 5.0 kg	(最小) 554.6 x 380.3 x 224 mm / 6.1 kg (最大) 554.6 x 510.3 x 224 mm / 6.1 kg
	スタンドなし	407.0 x 336.0 x 60.6 mm / 3.6 kg	554.6 x 330.5 x 61.2 mm / 4.5 kg
VESA		100 mm X 100 mm	
スタンドの傾き範囲		-3°(±2°) ~ 25°(±2°)	
USB		USB 2.0 X 4 (ダウンストリーム)	
環境条件	動作時	温度: 10°C ~ 40°C (50°F ~ 104°F) 湿度: 10-80 %, 結露しないこと	
	記録装置 (梱包保存時)	温度: -20°C ~ 45°C (-4°F ~ 113°F) 湿度: 5-95 %, 結露しないこと	

モデル名	NC191	NC241
プラグ & プレイ	このモニターは、プラグ & プレイ互換システムにインストールして使用することができます。モニターと PC システムとの双方向のデータ交換により、モニターの設定を最適化します。モニターのインストールは自動的に行われます。ただし、必要に応じてインストール設定をカスタマイズすることができます。	
パネル ドット (ピクセル)	この製品の製造工程の特性により、LCD パネル上に 100 万ピクセルに約 1 個 (1ppm) の割合で明るい、またはくらいピクセルが生じる場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。	



上記の仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



V C C I - B

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

11.2 省電力

この製品の省電力機能は、製品が一定時間使用されていないときには画面をオフにして消費電力を小さくし、電源 LED の色を変更します。省電力モードでは電源はオフにはなりません。画面を再度オンにするには、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。省電力モードは、製品が省電力機能のある PC に接続されているときにのみ機能します。

省電力		通常動作モード		パネル オフ モード	電源オフ (電源 ボタン オフ)	電源オフ (機 械的な電源ス イッチ オフ)
		(一般)	定格			
電源ランプ		オン		点滅	オフ	オフ
消費電力	NC191	17 ワット	40 ワット	7.5 ワット未満	1.1 ワット未満	0 ワット
	NC241	23 ワット	46 ワット			



- 表示される消費電力のレベルは、動作条件または設定が変更されたタイミングによって異なります。
- 消費電力を 0 ワットにするには、製品本体背面の電源スイッチをオフにするか電源コードを抜きます。長期間製品を使用しない場合は、必ず電源コードを抜いてください。電源スイッチを使用できない場合に電力消費を 0 にするには、電源ケーブルを抜きます。

11.3 標準信号モード表



- この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて1種類の解像度のみ設定することができます。したがって、指定の解像度以外の解像度を設定すると、画質が低下する場合があります。これを避けるには、ご使用の製品の画面サイズ用の最適な解像度を選択することをお勧めします。
- (PC に接続されている) CDT モニターを LCD モニターに交換した場合には、周波数を確認してください。LCD モニターが 85Hz をサポートしていない場合には、CDT モニターを使用して垂直周波数を 60Hz に変更してから LCD モニターに交換してください。

以下の標準信号モードに該当する信号が PC から送信される場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準の信号モードに含まれるものではない場合、電源 LED が点灯していても画面には何も表示されません。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルを参照して、以下の表に従って設定を変更してください。

NC191

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル ク ロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
VESA, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
VESA, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA, 800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA, 800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
VESA, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA, 1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
MAC, 1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+
VESA, 1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA, 1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル ク ロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VESA,1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA,1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+

NC241

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル ク ロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM,640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM,720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
VESA,640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
MAC,640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
VESA,640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA,640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA,800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA,800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA,800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA,800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
MAC,832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
VESA,1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA,1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA,1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA,1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
MAC,1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+
VESA, 1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA,1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA,1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA,1440 x 900	55.935	59.887	106.500	-/+
VESA,1600 x 900 RB	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA,1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	-/+
VESA,1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+



- 水平周波数
1本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。
- 垂直周波数
1秒間に数十回同じ映像を繰り返し表示することによって、自然な映像を表示できるようになります。この反復周波数を“垂直周波数”または“リフレッシュ レート”と呼び、Hz 単位で表示します。

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

 0120-327-527

受付時間 平日（土日祭日を除く）9:00~17:00 ※

ホームページ <http://www.samsung.com/jp>

住所 〒135-0062 東京都江東区東雲2-6-38

Fax 03-3527-5533



※ 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

有料サービスに関する責任（お客様の負担）



サービスをご希望の場合、以下の条件に該当するときは、保証内容に関わらず、サービス技術者の出張費をいただくことがあります。

製品に異常がない場合

製品の清掃、調整、説明、再設置など

- サービス技術者が、製品の使用方法の説明、または、製品の分解を必要としないオプション類の調整を行う場合
- 外部環境（インターネット、アンテナ、有線信号など）による異常の場合
- 購入後に初めて製品を設置した後に、製品の再設置や追加のデバイスの接続を行う場合
- 別の場所や別の家に製品を再設置する場合
- 他社製品の使用方法に関する説明をお求めの場合
- ネットワークまたは他社のプログラムの使用方法に関する説明をお求めの場合
- 製品に対するソフトウェアのインストールやセットアップをお求めの場合
- サービス技術者が製品内部のホコリや異物の除去または清掃を行う場合
- 製品を通信販売やインターネット ショッピングで購入後、追加で設置作業をお求めの場合

お客様の過失によって製品が損傷した場合

お客様の誤った使用または修理による製品の損傷

以下の場合、製品が損傷することがあります。

- 外部から衝撃を加えたり、落としたりした場合
- Samsung の認証を受けていないサプライ品または別売り製品を使用した場合
- Samsung Electronics Co., Ltd. の依頼サービス会社や協力会社の技術者以外の者が修理を行った場合
- お客様自身で製品の改造や修理を行った場合
- 規定外の電圧や電源を使用した場合
- ユーザー マニュアルに記載されている“注意”を守らなかった場合

その他

- 自然災害（落雷、火災、地震、洪水など）によって製品が故障した場合。
- 消耗部品（バッテリー、トナー、蛍光灯、ヘッド、パイプレータ、ランプ、フィルタ、リボンなど）を使い切った場合。



製品に異常がないにも関わらずサービスをお求めの場合、別途サービス料金が発生することがあります。まずはユーザー マニュアルをお読みください。

用語

OSD (オンスクリーン ディスプレイ)

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) では、画面上の設定を行って、必要に応じて画質を最適化することができます。画面に表示されるメニューを使用して、画面の明るさや色合い、サイズなどのさまざまな設定を変更できます。

粗調整

粗調整では、1 秒間あたりの電波振動の周波数の調整を行います。この周波数が高い場合、大量のデータを送信でき、反映も容易になります。一方、周波数が低い場合は、障害を簡単に回避でき到達距離も長くなりますが、送信できるデータ量は少なくなります。粗調整メニューでは、最適な画質となるように周波数を手動で調整することができます。標準信号モード表 (102 ページ) を参照して製品性能に応じた粗調整を行うことで、より良い画質をお楽しみいただけます。

ガンマ

ガンマ メニューでは、画面の中間調を示すグレースケールを調整します。明るさを調整すると画面全体が明るくなりますが、ガンマを調整した場合は中間の明るさの部分だけが明るくなります。

グレースケール

スケールとは色の強度のことで、画面上の暗い部分から明るい部分への色の変化を表します。画面の明るさの変更は白と黒の変化で表現されますが、グレースケールは白と黒の中間色を指すため、ガンマ調整でグレースケールを変更すると、画面上の中間の明るさの部分が変化します。

走査速度

走査速度は「リフレッシュ レート」とも呼ばれ、画面の書き換え (リフレッシュ) 頻度を表します。画像のリフレッシュ時には画面データが送信されます。ただし、これを肉眼で確認することはできません。この画面を書き換える回数を走査速度と呼び、Hz 単位で表します。たとえば走査速度が 60Hz の場合は、1 秒間に 60 回画面の書き換えが行われます。画面の走査速度は、ご使用の PC およびモニターのグラフィック カードの性能によって異なります。

水平周波数

モニター画面に表示される文字や画像は、多数のドット (ピクセル) で構成されています。ピクセルは水平方向の線 (ライン) になるよう送信され、これらのラインが垂直に配列されて画像が形成されます。水平周波数は kHz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインがモニター画面に送信され描画される回数を表します。たとえば水平周波数が 85 の場合は、画像を作り出す水平方向のラインが 1 秒間に 85000 回送信されます。このとき、水平周波数は 85kHz と表されます。

垂直周波数

画像は、水平方向の多数のラインで構成されます。垂直周波数は Hz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインによって描画される画像の数を表します。たとえば垂直周波数が 60 の場合は、1 秒間に画像が 60 回描画されます。垂直周波数は“リフレッシュ レート”とも呼ばれ、画面のちらつきに作用します。

解像度

解像度は、画面を形成している水平および垂直方向のピクセルの数で、ディスプレイの精細度を意味します。

高い解像度では、多くの情報を画面上に表示できるため、同時に複数の作業を実行する場合に適しています。

たとえば解像度が 1920 x 1080 の場合、水平方向のピクセル（水平解像度）は 1920 個、垂直のライン（垂直解像度）は 1080 本となります。

たとえば解像度が 1920 x 1200 の場合、水平方向のピクセル（水平解像度）は 1920 個、垂直のライン（垂直解像度）は 1,200 本となります。

プラグ & プレイ

プラグ & プレイ機能では、モニターと PC 間で情報が自動的に交換され、最適なディスプレイ環境が構築されます。

モニターでは VESA DDC（国際規格）を使用してプラグ & プレイを実行しています。

索引

“PCoIP” 36

“PCoIP” を使用するための接続方法 30

L

LANケーブルを使用してホストPCに接続する 33

M

MultiScreen 94

N

Natural Color 93

P

PC over IP とは 29

PC の接続と使用 68

Q

Q & A 99

S

SAMSUNG MAGIC Bright 76

SAMSUNG MAGIC Color 79

Samsung カスタマー サービス センターに
お問い合わせいただく前に 96

Z

安全のために 10

一般 100

起動画面での 音量 の設定 92

言語 88

色温度 83

製品使用時の正しい姿勢 16

青 82

赤 80

接続の前に 67

粗調整 77

著作権 7

電源スイッチ 91

内容の確認 17

微調整 78

標準信号モード表 102

表示時間 89

部品 20

明るさ 73

用語 107

緑 81

い

インストール方法 24

インフォメーション 92

お

お客様相談ダイヤル 105

か

ガンマ 84

く

クリーニング 8

こ

コントラスト 74

し

シャープネス 75

索引

め

メニューの背景透明度 90

り

リセット 87